

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	<u>17</u>

検査案内書

第17版

文書番号：QT-収集-0002

(施行日：2023年3月15日)

自治医科大学附属病院 臨床検査室

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

改版/レビュー履歴

版	区分	施行日 (レビュー日)	変更内容	作成	確認/承認
1	作成	2017/8/14	新規作成	横山貴子 2017/08/08	高浪勝利 2017/08/14
2	改訂・レビュー	2018/3/15	新規検査項目追加 P14：インフリキシマブ 検査項目削除 P13：TTT、ZTT P18：リウマチ因子半定量 (RAPA) P30：ヘパプラスチンテスト P44：赤痢アメーバ抗体価 P60：11. 各種申請手続き 1) 測定済み残余検体	横山貴子 2018/03/10	高浪勝利 2018/03/15
3	改訂・レビュー	2018/7/13	検査項目変更 P13：血清補体価 (CH50) P14：ゲンタマイシン P19：PIVKA-II 検査項目基準値変更 P27：赤血球数 血小板数 網赤血球数 白血球分類 P29：NAP 白血球墨粒貪食能 P30：PT APTT P31：凝固因子定量 P32：赤血球沈降速度 P33：グリコヘモグロビン P34：T細胞サブセット P54：7.3.1 採取指示リストの コメント追加 P58：10. 追加検査の依頼手順追 加	横山貴子 2018/06/29	高浪勝利 2018/07/13
4	改訂・レビュー	2018/08/13	検査項目変更 P10：AMYiso 検査項目基準値変更 P31：PT INR P32：凝固因子定量 P33：8 因子阻止物 9 因子阻止物 血小板凝集能 P34：ハム試験	横山貴子 2018/08/06	高浪勝利 2018/08/13

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

			砂糖水試験 P37：尿比重 尿糖定量 測定法名変更 P39：有機リン定性 採取容器変更 P48：細菌培養検査採取容器		
5	改訂・レビュー	2018/8/23	検査項目基準値変更 P27：赤血球数 血小板数 パニック値一覧 P65：細菌検査	横山貴子 2018/08/22	高浪勝利 2018/08/23
6	改訂・レビュー	2018/9/15	検査項目一覧 P8～P46： 90 所要時間コメント追加 基準値から基準範囲へ 変更 検査項目追加 P17：HBc抗体 P45：尿素呼気試験 P48：塗抹・培養検査 P51：3.6 生理検査項目一覧修正 P63：9.1 受付場所追加 P64：9.3 生理機能検査受入不可 基準追加 P65：9.4 検査の性能仕様や結果 の解釈に重大な影響を与え ることが知られている要因 の追加 P72：13.1 パニック値一覧 心電図検査追加・修正	横山貴子 2018/09/11	高浪勝利 2018/09/15
7	改訂・レビュー	2019/9/30	P1：表紙の変更 P2：改版レビュー履歴の変更 検査項目修正 P9：アンバウンドビリルビン P11：ALP _{iso} P14：IgE P18：HTLV-I・II抗体 P19：クオンティフェロン	横山貴子 2019/09/20	高浪勝利 2019/09/30

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

			<p>P20：抗 dsDNAIgG 抗体 P22：アレルギー検査 P23：・プロラクチン P29：赤血球数 P29：血小板数 P42：髄液細胞数 P55：心電図検査室 P56：肺機能検査室 P57：脳波検査室</p> <p>検査項目追加 P23：ACTH P23：コルチゾール P25：PCT（プロカルシトニン） P48：HLA 抗体スクリーニング P48：特異性同定検査クラスⅠ P48：特異性同定検査クラスⅡ</p> <p>検査項目削除 P35：羊水染色体検査 P40：ベンスジョーンズ蛋白 P33：凝固因子定量 第2・10・11・12 因子 P50：3.5 細菌検査 3.5.2 容器一覧の追加 3.5.3 検体採取法 採取容器の追加</p> <p>P60：時間外緊急検査項目の追加 ・PCT ・NT-proBNP ・トロポニンT 定量</p> <p>P64：7.3.1 血液採取 1) 検体は受取確認を行ってから搬送 3) 採血時の注意点 追加</p> <p>P74：13.1 パニック値一覧 細菌検査 血液培養で菌が陽性の削除</p> <p>P63.76: 標準採血法ガイドライン (GP4-A3)</p>		
8	改訂・レビュー	2019/11/22	LEAP への文書登録のため	横山貴子	高浪勝利
9	改訂・レビュー	2020/4/17	<p>検査項目修正 P11：亜鉛 P14：トロポニンT 定量 P15：蛋白分画 P15：A/G 比</p>	横山貴子	高浪勝利

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

			<p>P18 : ASK</p> <p>P22 : 血液粘稠度</p> <p>P22 : フェリチン</p> <p>P23 : 寒冷凝集反応</p> <p>P24 : プロラクチン</p> <p>P26 : 葉酸</p> <p>P26 : プロカルシトニン</p> <p>P39 : 尿一般定性 pH</p> <p>P39 : 尿蛋白定量</p> <p>P40 : 尿 NAG</p> <p>P42 : PAH クリアランス</p> <p>P49 : HLA 抗体特異性同定検査クラス I・II</p> <p>検査項目削除</p> <p>P35 : 血小板数粘着能</p> <p>P46 : 胆汁検査 黄疸指数</p> <p>P53~55 : 細菌検査採取容器の変更・追加</p> <p>P72~73 : 各種申請書の項についての変更</p> <p>P77 : 関連文書の追加</p>		
10	改訂・レビュー	2020/12/1	<p>P72~73 : 各種申請書の項についての変更</p> <p>P10 : 輸血検査 業務内容追加</p> <p>検査項目修正</p> <p>P11 : 尿酸</p> <p>P13 : ALP</p> <p>P13 : LDH</p> <p>P13 : ALP_{iso}</p> <p>P14 : 耐熱性アルカリフォスファターゼ</p> <p>P14 : 血糖</p> <p>P14 : トリグリセリド</p> <p>P15 : HDL コレステロール</p> <p>P15 : LDL コレステロール</p> <p>P18 : シクロスポリン</p> <p>P18 : タクロリムス</p>	横山貴子	高浪勝利

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

			<p>P22：抗核抗体定性 P22；抗核抗体定量 P24：直接クームス試験 P24：寒冷凝集反応 P45：髄液検査濁度 P48：胆汁検査 P53：糞便中クロストリジウム D1 毒素試験</p> <p>検査項目追加 P21：コロナウイルス抗原 P29：SARS-CoV-2 核酸検出（LAMP） （PCR） P51：造血器腫瘍 FCM 検査</p> <p>検査項目削除 P43：VMA 定性</p> <p>容器追加 P31：⑳コロナウイルス抗原専用 スワブ P31：㉒滅菌 PP スクリューコップ P31：㉓FLOQ スワブ ウイルス輸送液 P52：⑱穿刺液用滅菌スピッツ （白） P52：⑭ヘパリン特 G P52：㉒滅菌 PP スクリューコップ P64：時間外緊急検査項目追加 P80：関連文書の変更 病理検査関連事項の追加 P64～P68・P70・P76～P77・P78 P81～P82・P84</p>		
11	改訂・レビュー	2021/05/10	<p>検査項目修正 P14：ALPiso AMYiso CKiso P15：LDHiso P17：蛋白分画</p>	早川利恵子	高浪勝利

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

			<p>P19：メソトレキセート</p> <p>検査項目追加</p> <p>P30：SARS-Cov-2 迅速核酸 検出 (ID-Now)</p> <p>P64：肝硬度測定</p> <p>P70：尿中乱用薬物検査</p> <p>検査項目削除</p> <p>P12：クレアチン</p> <p>P21：風疹抗体 IgG・IgM サイトメガロウイルス 抗体 IgG・IgM 単純ヘルペス I 型抗体 IgG・IgM 水痘ヘルペス抗体 IgG・IgM 麻疹抗体 IgG・IgM カンジダ抗原</p> <p>P36：トロンボテスト</p> <p>P43：尿検査 FDP</p> <p>P70：トライエージ</p> <p>P70：トロンボテスト</p> <p>容器変更</p> <p>P32：コロナウイルス抗原専用 スワブ</p> <p>P68：喀痰 採取容器⑱⑳㉑</p> <p>容器名称変更</p> <p>P32：メンテップ病院用綿棒</p> <p>P64：超音波検査</p> <p>検査所要時間に関連する注釈の 変更</p> <p>P72：検体採取手順 7.1 外来検体の変更</p>		
12	改訂		<p>名称修正</p> <p>P9,67,76,80,82,86： 病理診断部</p> <p>P65：病理専門医</p> <p>基準値修正</p>	早川利恵子	高浪勝利

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

			<p>P25 : TSH 0.61～4.23</p> <p>P32 : メンテップ病院用綿棒</p> <p>P86 : パニック値の報告の変更 基準範囲追加</p> <p>P20 : 治療効果濃度範囲 トラフ値 : 50～250ng/ml : 治療効果濃度範囲 トラフ値 : 5～20ng/ml</p> <p>検査項目追加</p> <p>P30 : SARS-Cov-2 迅速核酸 検出 (Liat)</p> <p>パニック値追加</p> <p>P84 : 病理パニック値</p> <p>P84 : 輸血パニック値</p> <p>検査容器削除</p> <p>P32 : ㊸コロナウイルス 抗原専用スワブ</p>		
13	改訂	2021/11/25	<p>パニック値の報告修正</p> <p>P86 : 報告方法</p>	早川利恵子	高浪勝利
14	改訂	2022/04/11	<p>検査項目修正</p> <p>P18 : SAA</p> <p>P20 : リチウム</p> <p>P26 : TSH</p> <p>P38 : 血小板凝集能 : 赤血球沈降速度 : 砂糖水試験</p> <p>P45 : 髄液・細胞数</p> <p>P46 : 穿刺液・細胞数</p> <p>P47 : 関節液・細胞数</p> <p>P48 : 透析液・細胞数</p> <p>P51 : HLA 抗体</p> <p>P58 : 自律神経機能検査</p> <p>検査項目追加</p> <p>P35 : 細胞分画・CAPD</p> <p>P51 : HLA 抗体</p> <p>P53 : Film Array</p>	早川利恵子	高浪勝利

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

			<p>P60：終夜睡眠ポリグラフ</p> <p>P61：呼気 NO 検査</p> <p>P69：時間外緊急項目・リチウム 検査項目削除</p> <p>P35：LE 細胞</p> <p>P39：細胞性免疫検査</p> <p>P44：PAH クリアランス</p> <p>P46：糞便検査・便胆汁色素</p> <p>P51：抗血小板抗体</p> <p>P53：髄膜炎起炎菌迅速抗原検査</p> <p>P69：時間外緊急検査項目 ：髄膜炎起炎菌迅速同定 容器変更</p> <p>P32：メンテップ</p> <p>P40：血沈用採血管</p> <p>P50：蓄尿ハルンカップ</p> <p>P56：コパン UTM</p> <p>P66：滅菌遠心チューブ</p> <p>P13：病理検査 業務時間 追加</p> <p>P58：検体採取法 Film Array 追加</p> <p>P84：パニック値報告 削除：【一般検査】血清赤痢 アメーバ抗体陽性 追加：【一般検査】（但し、臨床 診断、臨床経過 ） 追加：【病理検査】 ・細胞診の迅速時に陰性</p>		
15	改訂	2022/6/10	<p>採取容器番号変更</p> <p>P22：血ガス</p> <p>P77-79：生理機能検査 受入不可基準</p> <p>P86：パニック値一覧 生理機能検査</p>	早川利恵子	高浪勝利
			<p>検査項目修正</p> <p>P16：アンバウンドビリルビン</p>		

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

16	改訂	2022/12/19	<p>P17 : イオン化カルシウム イオン化マグネシウム</p> <p>P18 : AMY</p> <p>P19 : トリグリセリド</p> <p>P20 : HDL コレステロール LDL コレステロール</p> <p>P22 : リチウム</p> <p>P23 : バンコマイシン</p> <p>P26 : 直接クームス試験</p> <p>P37 : 凝固線溶検査</p> <p>P38 : APTT 補正試験 PT 補正試験</p> <p>凝固因子定量</p> <p>8 因子阻止物</p> <p>9 因子阻止物</p> <p>P39 : 血小板凝集能 赤血球沈降速度 砂糖水試験</p> <p>P43 : ミオグロビン</p> <p>P44 : パラコート定性 有機リン定性</p> <p>P46 : 蟻虫卵検査</p> <p>P47 : ムチンクロット</p> <p>検査項目削除</p> <p>P24 : ASK</p> <p>P25 : コロナウイルス抗原 ベロ毒素直接検出 抗サイログロブリン抗体 抗マイクログロブリン抗体</p> <p>容器変更</p> <p>P30 : 血糖用真空採血管</p> <p>P32 : 血ガス用シリンジ 鼻腔用 ER スワブ EN</p> <p>P41 : 血沈用採血管</p> <p>P67 : 10%中性緩衝ホルマリン 容器</p>	早川利恵子	高浪勝利
----	----	------------	---	-------	------

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	<u>17</u>

			<p>容器追加</p> <p>P32 : EM マイスターヘマト クリット毛細管 マリンフィールドガラス 毛細管 Microvette 微量採血管</p> <p>P33 : 咽頭用メンテップ</p> <p>P41・51:キャビジェクトII CJ-2DK</p> <p>修正</p> <p>P64-66 : 病理検査 項目一覧 P68-69 : 病理検査 検体採取法 P70 : 時間外緊急検査項目一覧 P74-75 : 検体採取方法 P77-78 : 病理検査材料採取 P78 : 検体受付手順 P79:生理機能検査受入不可基準 P84 : 検体保管期間 病理診断部 (組織診)</p> <p>追加</p> <p>P16・17・22 : 小児微量検体の生化学項目は容器No.③⑥③⑦で使用可能です。 P79 : 検体受け入れ不可基準 病理検査</p>		
<u>17</u>	<u>改訂</u>	<u>2023/03/15</u>	<p><u>検査項目追加</u></p> <p><u>P21 : LGR、IgG4</u></p> <p><u>検査項目削除</u></p> <p><u>P16 : 血小板抗体</u> <u>P20 リポ蛋白分画</u> <u>P25 : T3、T4</u></p> <p><u>容器削除</u></p> <p><u>P53 : 容器 No②⑤</u></p> <p><u>文章削除 P78 : 10. 2) (3)</u> <u>文章追加 P17・28・30・34・37・39・44・46</u></p>	<u>早川利恵子</u>	<u>高浪勝利</u>

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	<u>17</u>

			<u>P84 : 16. 関連文書</u> <u>変更</u> <u>P26 : E2</u> <u>P31 : クオンティフェロン</u> <u>P36 : NBT 還元能検査</u> <u>P41 : 尿糖定量</u> <u>P45 : 穿刺液・糖定量、穿刺 LD</u> <u>P47 : 透析液・糖定量</u> <u>P51 : 細菌検査・項目一覧</u> <u>P52 : 容器一覧④</u> <u>P57 : 起立性調節試験</u> <u>P59 : 反復刺激試験</u> <u>P60 : C-Reflex・事象関連電位</u> <u>P77 : 9.3 4) (5)</u> <u>P77 : 9.4 6)</u> <u>P78 : 10. 2) (2)</u> <u>P82 : パニック値</u> <u>細菌検査・輸血検査</u>		
--	--	--	--	--	--

※2019/11/15 以降は LEAP 運用のため作成日、承認日は LEAP 文書管理を参照する。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

目次

1.	検査室の所在地	15
2.	臨床検査部、輸血細胞移植部、病理診断部連絡先および業務時間	16
3.	院内検査項目および容器一覧	17
3.1	生化学血清検査	17
3.1.1	項目一覧	17
3.1.2	容器一覧	31
3.2	血液検査	34
3.2.1	項目一覧	34
3.2.2	容器一覧	40
3.3	一般検査	41
3.3.1	項目一覧	41
3.3.2	容器一覧	48
3.4	血液型・クームス・輸血検査	49
3.4.1	項目一覧	49
3.4.2	容器一覧	50
3.5	細菌検査	51
3.5.1	項目一覧	51
3.5.2	容器一覧	52
3.5.3	検体採取法	54
3.6	生理検査	57
3.6.1	項目一覧	57
3.7	病理検査	62
3.7.1	項目一覧	62
3.7.2	容器一覧	64
3.7.3	検体採取法	65
4.	時間外緊急検査項目一覧	66
5.	検査依頼	67
5.1	オーダーリングシステムによる依頼	67
5.2	伝票による依頼	68
5.2.1	特殊項目	68
5.2.2	システムダウン時	68
6.	ラベル内容	68
7.	検体採取手順	68
7.1	外来検体	68
7.2	病棟検体	69

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

7.3	検体採取方法	69
7.3.1	血液採取	69
7.3.2	尿採取	71
7.3.3	便採取	72
7.3.4	細菌検査材料採取	72
7.3.5	病理検査材料採取	72
8.	検体搬送手順	74
9.	検体受付手順	74
9.1	受付場所	74
9.2	検体受入不可基準	74
9.3	生理機能検査受入不可基準	75
9.4	検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与えることが知られている要因	77
10.	追加検査の依頼手順	78
11.	各種申請手続き	80
12.	アドバイスサービスの案内	81
13.	パニック値報告手順	81
13.1	パニック値一覧	81
13.2	パニック値の報告	84
14.	個人情報の保護に関する検査室の方針	84
15.	検査室の苦情処理手順	84
16.	関連文書	84

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	<u>17</u>

1. 検査室の所在地

自治医科大学附属病院

臨床検査部

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

電話番号(本館：検体受付直通) 0285-58-7176

外注委託先として

株式会社エスアールエル

宇都宮営業所 〒320-0851 宇都宮市鶴田町1557-1 電話番号 028-648-5911

株式会社LSIメディエンス

栃木営業所 〒321-0118 宇都宮市インターパーク3-4-6 電話番号 028-688-1171

院内外注委託先電話番号：2206 (9:00～17:00対応可能)

委託検査室の臨床検査については、各委託先の総合検査案内に従う。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

2. 臨床検査部、輸血・細胞移植部、病理診断部連絡先および業務時間

検査項目、検査結果、検査容器など、検査に関する問合せや要望・苦情は下記の担当部署に連絡して下さい。また、平日時間外、休日は本館：2207、新館：2707 に連絡して下さい。

平日 日常業務時間 8:30～17:15

平日 時間外(夜間) 17:15～翌 8:30

休日 24 時間対応

※平日時間外、休日は、時間外検査項目のみの対応となります。

※病理検査は平日 8：30～17：15 の受付のみとなります。

検査室	電話番号	場 所	業務内容
検体受付 平日時間内	2207	臨床検査部 検体受付	検体受付 (入院)
採血・生理受付 平日時間内	2210 2239	採血受付 生理受付	採血 (外来)・生理検査受付
生化学・免疫血清 検査	2200 2207 2203	免疫・生化学 検査室	生化学検査、血糖検査、血液ガス、 免疫グロブリン、迅速抗原検査 感染症検査、腫瘍マーカー、 甲状腺機能検査、血中薬物濃度
遺伝子検査	2205	遺伝子検査室	遺伝子関連検査
血液検査	2218 2219	血液検査室	血算、血液像、骨髓像、血沈 凝固・線溶検査、HbA1c
一般検査	2213	一般検査室	尿一般、便、穿刺液、髄液検査
輸血検査	2131 2132・2133	輸血・ 細胞移植部	血液型、輸血、抗体価、 血小板抗体 組織適合性検査、 造血器腫瘍 FCM 検査
細菌検査	2202	細菌検査室	細菌検査、結核菌検査
病理検査	2257	病理診断部	細胞診、組織診断、解剖
生理検査	循環器 2237 肺機能 2226 脳神経 2232 超音波 2235	生理機能検査室	心電図検査、負荷心電図検査 肺機能検査、 脳波、筋電図検査 超音波検査、
時間外検査受付 (17:30～翌 8:30、 休日)	本館 2207 新館 2707 PHS6260	臨床検査部 検査受付	検体受付、保存 時間外(夜間)・休日対応 緊急検査項目

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3. 院内検査項目および容器一覧

3.1 生化学血清検査

3.1.1 項目一覧

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
含 窒 素 成 分 検 査	尿素窒素	8~20 mg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分		ウレアーゼ GLDH: 消去法
	クレアチニン	M 0.65~1.07 mg/dL F 0.46~0.79 mg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分		酵素法
	尿酸	M 3.7~7.8 mg/dL F 2.6~5.5 mg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分	7 mg/dL 未満: 日本痛風・核酸 代謝学会・高尿 酸血症。痛風の 治療ガイドライン 2019	ウリカーゼ POD 法
	アンモニア	11~35 μmol/L	全血 1 mL	⑦	30分	ヘパリン採血 後、シリンジの まま速やかに提 出してください。	酵素法
	総ビリルビン	0.40~1.50 mg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分		酵素法(ビリルビンオキシ ダーゼ法)
	直接ビリルビン	0.06~0.23 mg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分		酵素法(ビリルビンオキシ ダーゼ法)
	黄疸指数	4~6 Unit	*血清 0.3 mL	①	70分		
	総胆汁酸	< 12.0 μmol/L	*血清 0.3 mL	①	70分		酵素法
	アンバウンドビリ ルビン	< 0.08 μg/dL * 生後日数・体重で異なり ます。	血漿 0.05 mL	③⑥	20分	遮光して提出して ください。	酵素法

「*血清 0.3 mL」の項目は、何項目でも最大0.3 mLで測定可能です。

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。

日当直では、時間外緊急検査項目が対象となります。

小児微量検体の生化学項目は容器No.③⑥⑦で使用可能です。

* 記載されている材料以外でのご依頼の場合、参考値となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
電 解 質 検 査	ナトリウム	138~145 mmol/L	*血清 0.3 mL	①	70分		イオン選択電極法
	クロール	101~108 mmol/L	*血清 0.3 mL	①	70分		イオン選択電極法
	カリウム	3.6~4.8 mmol/L	*血清 0.3 mL	①	70分		イオン選択電極法
	カルシウム	8.8~10.1 mg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分		酵素法(ホスフォリパーゼD法)
	イオン化カルシウム	1.13~1.32 mmol/L	全血 1 mL	⑦ ③⑤	15分	ヘパリン採血後、シリンジのまま速やかに提出してください。	電極法
	イオン化マグネシウム	0.53~0.67 mmol/mL	全血 1 mL	⑦ ③⑤	20分	ヘパリン採血後、シリンジのまま速やかに提出してください。	電極法
	無機リン	2.7~4.6 mg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分		酵素法
	マグネシウム	1.7~2.5 mg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分		キシリジルブルー法
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
金 属 検 査	血清鉄	40~188 µg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分	日内変動 朝>夕	Nitroso-PSAP 法
	UIBC	M 126~289 µg/dL F 142~341 µg/dL	*血清 0.3 mL	①	70分		Nitroso-PSAP 法
	亜鉛	80~130 µg/dL	血清 0.4 mL	①	70分	日内変動 朝>夕	比色法
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
酵 素 分 画 検 査	ALP	38~113 U/L	*血清 0.3 mL	①	70分		IFCC 標準化対応法
	AMY	44~132 U/L	*血清 0.3 mL	①	70分		IFCC 標準化対応法
	リパーゼ	13~49 U/L	*血清 0.3 mL	①	70分		酵素法
	コリンエステラーゼ	M 240~486 U/L F 201~421 U/L	*血清 0.3 mL	①	70分		JSCC 標準化対応法
	CK	M 59~248 U/L F 41~153 U/L	*血清 0.3 mL	①	70分		JSCC 標準化対応法
	CK-MB活性	< 12 IU/L	*血清 0.3 mL	①	70分		免疫阻害法

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
酵素 分 画 検 査	CK-MB活性	< 12 IU/L	* 血清 0.3 mL	①	70分	免疫阻害法
	γ-GT	M 13~64 U/L F 9~32 U/L	* 血清 0.3 mL	①	70分	JSCC/IFCC 標準化対応法
	LDH	124~222 U/L	* 血清 0.3 mL	①	70分	IFCC 標準化対応法
	AA	42~76 U/L	* 血清 0.3 mL	①	70分	酵素法
	AST(GOT)	13~30 U/L	* 血清 0.3 mL	①	70分	JSCC 標準化対応法
	ALT(GPT)	M 10~42 U/L F 7~23 U/L	* 血清 0.3 mL	①	70分	JSCC 標準化対応法
	ACE(アンギオテンシン 転換酵素)	8.3~21.4 U/L	血清 0.4 mL	①	70分	比色法(笠原法)
	ALPiso	ALP1 0.0~5.3 % ALP2 29.3~67.9 % ALP3 26.9~67.6 % ALP5 0.0~18.1 %	血清 0.3 mL	①	1~5 日	アガロース電気泳動法
	AMYiso	P 15.7~64.0 % S 36.0~84.3 %	血清 0.1 mL	①	1~5 日	アガロース電気泳動法
		P 38.7~82.3 % S 17.7~61.3 %	新鮮尿 0.1 mL	⑮		
	CKiso	MM 95.8~100.0 % MB 0.0~2.7 % BB 0.0~1.8 %	血清 0.1 mL	①	1~5 日	アガロース電気泳動法
LDHiso	LDH1 20.0~ 31.0 % LDH2 28.8~ 37.0 % LDH3 21.5~ 27.6 % LDH4 6.3~12.4 % LDH5 5.4~13.2 %	血清 0.1 mL	①	1~5 日	アガロース電気泳動法	
耐熱性アルカリフォスファターゼ(HSAP)	陰性	血清 0.3 mL	①	当日	IFCC 標準化対応法	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
糖 代 謝 検 査	血糖	73~109 mg/dL	* 血清 0.3 mL	①	70 分	110mg/dL 未満: 日本糖尿病学会・ 糖尿病治療ガイド 2020~2021	HK-G6PDH 法	
			血漿 0.3 mL	③	60 分	負荷試験は血糖 用試験管を使用し てください。	HK-G6PDH 法	
	グリコアルブミン	11~16 %	* 血清 0.3 mL	①	70 分		酵素法	
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
脂 質 検 査	トリグリセリド (中性脂肪)	M 40~234 mg/dL F 30~117 mg/dL	* 血清 0.3 mL	①	70 分	150 mg/dL 未満 (空腹時採血) 175mg/dL 未満 (随時採血) 動脈硬化性疾患 予防ガイドライン 2022	酵素法	
	総コレステロール	142~248 mg/dL	* 血清 0.3 mL	①	70 分	220 mg/dL 未満 日本動脈硬化学会・高脂血症診療 ガイドライン 2007	酵素法	
	LDL-コレステロール	65~163 mg/dL	* 血清 0.3 mL	①	70 分	140 mg/dL 未満 動脈硬化性疾患 予防ガイドライン 2022	直接法	
	HDL-コレステロー ル	M 38~90 mg/dL F 48~103 mg/dL	* 血清 0.3 mL	①	70 分	40 mg/dL 以上	動脈硬化性疾患 予防ガイドライン 2022	直接法
	HDL 比	M 1.2~4.8 F 1.1~4.5						
	LDL計算値	<139 mg/dL						
	リポ蛋白分画	α 26.5~45.2 % pre-β 9.4~29.3 % β 24.8~50.8 % カイロミクロン 0.0~3.5 %	血清 0.1 mL	①	当日	早朝空腹時に 採血してください。	アガロース電気泳動法	
	Lp-X	(-)	血清 0.1 mL	①	1~2 日		アガロース電気泳動法	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
CRP	0.00~0.14 mg/dL	* 血清 0.3 mL	①	70 分		ラテックス凝集比濁法
SAA (血清アミロイドA)	<3mg/L	血清 0.4 mL	①	70 分		ラテックス凝集比濁法
トロポニン T 定性	(-)	全血 0.4 mL	④	30 分	血算用スピッツでご 提出下さい。	イムノクロマト法
トロポニン T 定量	<0.014 ng/mL	血清 0.3 mL	①	90 分	当日採血のみ 追加可能	ECLIA 法
MMP-3	M 35.2~ 123.8ng/mL F 16.1~56.8 ng/mL	血清 0.4 mL	①	70 分		ラテックス凝集比濁法
総蛋白	6.6~8.1 g/dL	* 血清 0.3 mL	①	70 分		ビウレット法
アルブミン	4.1~5.1 g/dL	* 血清 0.3 mL	①	70 分		BCP 改良法
KL-6	< 500 U/mL	血清 0.3 mL	①	120 分		CLEIA 法
M2BPGi	< 1.0 COI	血清 0.3 mL	①	70 分		CLEIA 法
LRG	16 µg/mL COI	血清 0.4 mL	①	70 分		免役比濁法
IgG4	135 mg/dLCOI	血清 0.4 mL	①	70 分		免役比濁法
蛋白分画	アルブミン 55.8~ 66.1 % α1 2.9~4.9 % α2 7.1~11.8 % β1 4.7~7.2 % β2 3.2~6.5 % γ 11.1~18.8 %	血清 0.3 mL	①	1~3 日		キャピラリー電気泳動 法
		新鮮尿 20 mL	⑮			アガロースゲル電気 泳動法
免疫固定法		血清 0.1 mL	①	1~3 日		免疫固定電気泳動法
		新鮮尿 20 mL	⑮			
A/G比	1.26~1.95	血清 0.3 mL	①	1~3 日		キャピラリー電気泳動 法
IgG	861~1747 mg/dL	血清 0.4 mL	①	70 分		免疫比濁法
		蓄尿 0.4 mL	⑯	70 分		
		髄液 0.4 mL	⑱	120 分		
IgA	93~393 mg/dL	血清 0.4 mL	①	70 分		免疫比濁法

血漿
蛋白
検査

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
血漿 蛋白 検査	IgM	M 33~183 mg/dL F 50~269 mg/dL	血清 0.4 mL	①	70分		免疫比濁法
	IgE	<216 IU/mL	血清 0.3 mL	①	90分		FEIA 法
	トランスフェリン	190~320 mg/dL M:190~300 mg/dL F:200~340 mg/dL	血清 0.4 mL	①	70分		免疫比濁法
	レチノール結合蛋白	1.9~4.6 mg/dL M:2.7~6.0 mg/dL F:1.9~4.6 mg/dL	血清 0.4 mL	①	70分		ラテックス凝集比濁法
	プレアルブミン	22.0~40.1 mg/dL M:23~42 mg/dL F:22~34 mg/dL	血清 0.4 mL	①	70分		免疫比濁法
	プロカルシトニン (PCT)	< 0.046 ng/mL < 0.5 ng/mL 重症敗血症のリスク低い ≥ 2.0 ng/mL 重症敗血症のリスク高い	血清 0.3 mL	①	90分	当日採血のみ 追加可能	ECLIA 法
	クリオグロブリン定性	(-)	血清 0.5 mL	①	7日	採血後 37℃保温して 提出してください。 報告まで 7 日を要し ます。	寒冷沈澱法 オクタロニー法
	クリオグロブリン定量	(-)	血清 0.5 mL	①	7日	採血後 37℃保温して 提出してください。	クリオクロット
	パイログロブリン	(-)	血清 0.5 mL	①	1~3 日		熱凝固法
	血液粘稠度	4.36~5.54	全血 2.0 mL	④	当日	血算用試験管に 2mL 採血してください。	ヘス式粘稠度計
	血清粘稠度	1.45~1.85	血清 0.5 mL	①	当日		ヘス式粘稠度計
	血漿粘稠度	1.56~1.88	血漿 0.5 mL	④	当日	血算用試験管に 2mL 採血してください。	ヘス式粘稠度計
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
補 体 検 査	C3	73~138 mg/dL	血清 0.4 mL	①	70分		免疫比濁法
	C4	11~31 mg/dL	血清 0.4 mL	①	70分		免疫比濁法
	血清補体価 (CH50)	30~46 CH50/mL	血清 0.4 mL	①	70分	当日採血のみ 追加可能	Mayer 法

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
中枢神経系用薬						
フェニトイン	10~20 µg/mL	血清 0.3 mL	②	70分	採血はブレイン管を使用してください。次回投与直前に採血してください。(トラフ濃度)	ラテックス凝集比濁法
フェノバルビタール	15~40 µg/mL	血清 0.3 mL	②	70分		ラテックス凝集比濁法
カルバマゼピン	4~10 µg/mL	血清 0.3 mL	②	70分		ラテックス凝集比濁法
バルプロ酸	50~100 µg/mL	血清 0.3 mL	②	70分		ラテックス凝集比濁法
リチウム	0.4~1.2 mmol/L	血清 0.2 mL	②	70分		比色法
循環器用薬						
テオフィリン	10~20 µg/mL	血清 0.3 mL	②	70分	採血はブレイン管を使用してください。次回投与直前に採血してください。(トラフ濃度)	ラテックス凝集比濁法
ジゴキシン	0.8~2.0 ng/mL	血清 0.3 mL	②	70分		ラテックス凝集比濁法
抗生物質						
バンコマイシン	<10.0 µg/mL ピーク濃度 25.0~40.0 µg/mL	血清 0.3 mL	②	90分	採血はブレイン管を使用してください。点滴静注後1~2時間がピーク濃度です。次回投与直前の採血はトラフ濃度です。	CLIA法
ゲンタマイシン	1日複数回投与 トラフ値 1~2 µg/mL ピーク値 4~10 µg/mL 1日単回投与 トラフ値 1 µg/mL 以下 ピーク値 16~24 µg/mL	血清 0.3 mL	②	90分	採血はブレイン管を使用してください。点滴静注後1~3時間がピーク濃度です。次回投与直前の採血はトラフ濃度です。	CLIA法
抗腫瘍製剤						
メソトレキセート	中毒域(大量投与時) 24時間後 10 µmol/L 以上 48時間後 1 µmol/L 以上 72時間後 0.1 µmol/L 以上	血清 0.3 mL	②	90分		CLIA法
免疫抑制剤						
シクロスポリン	治療効果濃度範囲 トラフ値: 50~250ng/ml (対象臓器、疾患、治療時期などで大きく異なる)	全血 1 mL	④	90分	次回投与直前の採血はトラフ濃度です。採血は血算用試験管に分注後、よく混和してください。	ECLIA法
タクロリムス	治療効果濃度範囲 トラフ値: 5~20ng/ml	全血 1 mL	④	90分	次回投与直前の採血はトラフ濃度です。採血は血算用試験管に分注後、よく混和してください。	ECLIA法
インフリキシマブ	<1 µg/mL か ≥1 µg/mL を判定	血清 0.2 mL	②	40分	採血はブレイン管を使用してください。	イムノクロマト法

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
RPR定量	(－)	血清 0.4 mL	①	70分		ラテックス凝集比濁法
		髄液 0.4 mL	⑱	120分		
TP定量	(－)	血清 0.4 mL	①	70分		ラテックス凝集比濁法
		髄液 0.4 mL	⑱	120分		
FTA-ABS定性	(－)	血清 0.1 mL	①	1～3日	報告まで1～2 日を要します。	蛍光抗体法
FTA-ABS定量	(－)	血清 0.1 mL	①	1～3日		蛍光抗体法
ASO	成人 < 186 U/mL	血清 0.4 mL	①	70分		ラテックス凝集比濁法
	小人 < 362 U/mL					
マイコプラズマ抗体	< 40倍	血清 0.1 mL	①	1～2日		ゼラチン粒子凝集法
マイコプラズマ抗原	(－)	咽頭拭い液	⑳	30分		イムノクロマト法
ヘリコバクターピロリ IgG抗体	(－)	血清 0.5 mL	①	70分		ラテックス凝集比濁法
HBs抗原	(－)	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
HBs抗体	(－)	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
HBc抗体	(－)	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
HBe抗原	(－)	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
HBe抗体	(－)	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
HCV抗体	(－)	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
HCV抗原 (コア蛋白質)	< 3.00 fmol/L	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
HTLV- I・II抗体	(－)	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
HIV抗原抗体	(－)	血清 0.4 mL	①	120分		CLIA法
クリプトコッカス 抗原	(－)	血清 0.5 mL	①	1～2日		ラテックス凝集法
		髄液 0.5 mL	⑱			
インフルエンザ A・B抗原	A (－) B (－)	鼻腔拭い液 専用スワブ	⑧	30分		イムノクロマト法
アデノウイルス抗原	(－)	咽頭拭い液 角結膜拭い液 専用スワブ	㉑	30分		イムノクロマト法
ヒトメタニューモ ウイルス抗原	(－)	鼻咽頭拭い液 鼻腔吸引液 専用スワブ	⑧	30分		イムノクロマト法
RSV	(－)	鼻咽頭拭い液 鼻腔吸引液 専用スワブ	⑧	30分		イムノクロマト法

感染症関連抗原抗体検査

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
感 染 症 関 連 抗 原 抗 体 検 査	A 群溶連菌	(-)	鼻咽頭拭い液 鼻腔吸引液 専 用スワブ	③④	30 分		イムノクロマト法
	尿中肺炎球菌荚膜 抗原	(-)	尿・髄液 1 mL	⑮ ⑱	30 分		イムノクロマト法
	尿中レジオネラ LPS 抗原	(-)	尿 1 mL	⑮	30 分		イムノクロマト法
	O-157 抗原直接検出	(-)	糞便 拇指 頭大	⑲	30 分		イムノクロマト法
	ノロウイルス抗原検出	(-)	糞便 拇指 頭大	⑲	30 分		イムノクロマト法
	ロタ・アデノウイルス 抗原	(-)	糞便 拇指 頭大	⑲	30 分		イムノクロマト法
	クオンティフェロン	(-)	全血 各 1 mL 特殊専用試験管(4 本)灰色、緑色、黄 色、紫色の順に各 1 mL ずつ採血し てください。	⑥	2~7 日	平日の 17 時 まで受付	ELISA 法
	SARS-CoV-2 核酸検出 (LAMP)	(-)	喀痰	⑳	当日・平日 15 時まで受付		LAMP 法
	SARS-CoV-2 核酸検出 (PCR)	(-)	鼻咽頭拭い液	㉑	2~3 日		リアルタイム PCR 法
	SARS-CoV-2 迅速核酸 検出(Liat)	(-)	鼻咽頭拭い液	㉑	30 分		リアルタイム PCR 法

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
内 分 泌 関 連 検 査	TSH	0.61~4.23 μ U/mL	血清 0.3 mL	①	90 分		FEIA 法・TSH- IFCC
	T3	0.84~1.40 ng/mL	血清 0.3 mL	①	90 分		FEIA 法
	T4	5.15~10.43 μ g/dL	血清 0.3 mL	①	90 分		FEIA 法
	FT3	2.11~3.51 pg/mL	血清 0.3 mL	①	90 分		FEIA 法
	FT4	0.84~1.44 ng/dL	血清 0.3 mL	①	90 分		FEIA 法
	TSH レセプター抗体	< 2.0 IU/L	血清 0.4 mL	①	120 分	ヘパリン採血は 不可	ECLIA 法
	インスリン	< 16 μ U/mL	血清 0.3 mL	①	90 分		FEIA 法
	ACTH	7.2~63.3 pg/mL	血漿 0.2 mL	特 C	90 分		ECLIA 法
	コルチゾール	午前 6~10 時 6.24~18.0 μ g/dL 午後 4~8 時 2.69~10.4 μ g/dL	血清 0.2 mL	①	90 分		ECLIA 法

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
内 分 泌 関 連 検 査	プロラクチン	M 4.29～13.69 ng/mL F(閉経前) 4.91～29.32 ng/mL F(閉経後) 3.12～15.39 ng/mL	血清 0.3 mL	①	90分		ECLIA法
	E 2	M 14.6～48.8 pg/mL F(卵胞期) 28.8～196.8 pg/mL F(排卵期) 36.4～525.9 pg/mL F(黄体期) 44.1～491.9 pg/mL F(閉経後) <47.0 pg/mL	血清 0.3 mL	①	90分		ECLIA法
	プロゲステロン	M < 0.2 ng/mL F(卵胞期) < 0.3ng/mL F(排卵期) <5.7 ng/mL F(黄体期) 2.1～24.2 ng/mL F(閉経後) <0.3 ng/mL	血清 0.3 mL	①	90分		ECLIA法
	C-ペプチド	1.1～3.3 ng/mL	血清 0.3 mL	①	90分		FEIA法
		18.3～124.4 μg/day	蓄尿 0.3 mL	⑬	90分		FEIA法
	成長ホルモン	< 2.1 ng/mL	血清 .3 mL	①	90分		FEIA法
	L H	M 1.7～11.2 mIU/mL F(卵胞期) 1.7～13.3 mIU/mL F(排卵期) 4.1～68.7 mIU/mL F(黄体期) 0.5～19.8 mIU/mL F(閉経後) 14.4～62.2 mIU/mL	血清 0.3 mL	①	90分		FEIA法
	F S H	M 2.1～18.6 mIU/mL F(卵胞期) 4.5～11.0 mIU/mL F(排卵期) 3.6～20.6 mIU/mL F(黄体期) 1.5～10.8 mIU/mL F(閉経後) 36.6～168.8mIU/mL	血清 0.3 mL	①	90分		FEIA法

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
内分泌関連検査	BNP	< 18.4 pg/mL	血漿 0.3 mL	④	80分	採血後2時間以内追加可能	FEIA法
	NT-ProBNP	35.1±12.1歳 < 55 pg/mL 40~59歳 M: < 77 pg/mL F: < 121 pg/mL 60~88歳 M: < 131 pg/mL F: < 165 pg/mL	血清 0.3 mL	①	90分		ECLIA法
	HCG(定量)	成人男性 <0.5 IU/mL 成人女性 <0.5 IU/mL 妊娠4~7週間 612~187000mIU/mL 妊娠8~11週間 17700~315000mIU/mL 妊娠12~20週間 5400~169000 mIU/mL 妊娠21~40週間 3440~69700 mIU/mL 成人女性 < 2.5 mIU/mL 妊娠4~7週間 1210~475000 mIU/mL 妊娠8~11週間 21900~709000mIU/mL 妊娠12~20週間 2890~193000 mIU/mL 妊娠21~40週間 1680~74300 mIU/mL	血清 0.3 mL 新鮮尿 1 mL	① ⑮	90分 90分		FEIA法 FEIA法
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
ビタミン検査	ビタミン B12	197~771 pg/mL	血清 0.3 mL	①	120分		ECLIA法
	葉酸	3.9~26.8 ng/mL	血清 0.3 mL	①	120分		ECLIA法

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
自己抗体関連検査	リウマチ因子定量 (RF定量)	< 15 IU/mL	血清 0.4 mL	①	70分		ラテックス凝集比濁法
	抗 dsDNA(2本鎖) IgG 抗体	< 12.0 IU/mL	血清 0.1 mL	①	2~3日	報告まで2~3日を要します。	ELISA 法
	抗核抗体定性	(-)	血清 0.2 mL	①	2~3日		蛍光抗体法
	抗核抗体定量	≤ 40	血清 0.2 mL	①	2~3日	報告まで2~3日を要します。	蛍光抗体法
	抗ミトコンドリア抗体	(-)	血清 0.2 mL	①	2~3日		蛍光抗体法
	抗平滑筋抗体	(-)	血清 0.2mL	①	2~3日		蛍光抗体法

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
免疫血液学的検査	直接クームス試験	(-)	全血 2 mL	②	当日	平日 16時まで受付	赤血球凝集法
	間接クームス試験	(-)	血清 0.5 mL	②	当日		赤血球凝集法
	寒冷溶血反応	(-)	全血 1 mL	④	当日	要予約 化学用試験管に7mL と血算用試験管に2mL 採血後37°Cに保温して 提出してください。(被 検者と同型の健康人の 採血も同様に提出して ください。)	Donath-Landsteiner反応
			血清 1 mL	①			
寒冷凝集反応	≤ 128倍	血清 0.2 mL	①	1~4日		赤血球凝集法	
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
アレルギー関連検査	アレルギー検査 (IgE特異抗体活性検査)	< 0.35 UA/mL	血清 1抗原 0.04 mL	①	1~4日	報告まで3~4日を要します。保険適用は13項目以内となります。	FEIA 法

「*血清 0.3 mL」の項目は、何項目でも最大0.3 mLで測定可能です。

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。

日当直では、時間外緊急検査項目が対象となります。

小児微量検体の生化学項目は容器No.③⑥⑦で使用可能です。

* 記載されている材料以外でのご依頼の場合、参考値となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要時間	測定法	
遺伝子関連検査	造血器腫瘍核酸増幅同定	HBV-DNA 定量	検出せず LogIU/mL	血漿 0.7 mL	⑤	報告まで3~4日 を要します。	リアルタイム PCR 法
		HCV-RNA 定量	検出せず LogIU/mL	血漿 0.7 mL	⑤	報告まで3~4日 を要します。	リアルタイム PCR 法
		結核菌	(-)	喀痰・胃液		報告まで3~4日 を要します。	リアルタイム PCR 法
		非定型抗酸菌(M.avium)	(-)	喀痰・胃液		報告まで3~4日 を要します。	リアルタイム PCR 法
		非定型抗酸菌 (M.intracellulare)	(-)	喀痰・胃液		報告まで3~4日 を要します。	リアルタイム PCR 法
	CML t(9;22)(q34;q11) Major- BCR/ABL	(一)	骨髓液 末梢血 EDTA 加スピッツ での提出を願 いします。 細胞数 1X10 ⁶ 個 以上必要	④	報告まで3~4日 を要します	RT-nested-PCR 法	
	ALL t(9;22)(q34;q11) minor- BCR/ABL						
	AML/M2 t(8;21)(q22;q22) AML1/MTG8						
	AML/M3 t(15;17)(q22;q11) PML/RAR α						
	ALL t(1;19)(q23;q13) E2A/PBX1						
ALL t(12;21)(q13;q22) TEL/AML1							

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
その他	ICG	15分値 <10%	血清 1.0 mL	①	当日	注射前に盲検用検体を採血してください。	比色法
	BTR(総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比)	総分岐鎖アミノ酸/チロシン 5.82~8.64	血清 0.4 mL	①	70分		酵素法
	血液ガス (代謝項目およびヘモグロビン分画を含む)		全血 1mL	⑦ ③⑤	20分	ヘパリン採血後、速やかに提出してください。	電極法
	乳酸	0.5~2.0 mmol/L		③⑤			電極法
	エタノール	<10 mg/dL	*血清 0.3mL	①	70分		酵素法

「*血清 0.3 mL」の項目は、何項目でも最大0.3 mLで測定可能です。

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。






日当直では、時間外緊急検査項目が対象となります。

小児微量検体の生化学項目は容器No.③⑥⑦で使用可能です。

* 記載されている材料以外でのご依頼の場合、参考値となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.1.2 容器一覧

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
①		分離剤入り採血管 水色：3 mL ピンク色： 4 mL・6 mL 赤茶色：9 mL	生化学検査 免疫検査	検査項目に応じて必要量を採血した後、4～5 回転倒混和して下さい。
②		ブレイン採血管 黄土色：3 mL L ピンク色： 5 mL	薬物血中濃度 直接クームス 試験 間接クームス 試験	検査項目に応じて必要量を採血した後、4～5 回転倒混和して下さい。
③		血糖用真空採血管 フッ化Na ヘパリンNa, EDTA-2Na 灰色：2 mL	血糖	血液 2.0mL 採血し、凝固しないように、採血 後、速やかに転倒混和して下さい。 負荷血糖、1日血糖等の場合、採血後速やか に提出してください。
④		血算用採血管 EDTA-2K 紫色：2 mL	タクロリムス シ クロスボリン BNP ProGRP 造血器腫瘍核酸増 幅同定	血液 2.0mL 採血し、凝固しないように、採血 後、速やかに転倒混和して下さい。
⑤		P3 採血管 EDTA-2K 黄色：5 mL	HBV-DNA 定量 HCV-RNA 定量	血液 5.0mL 採血し、凝固しないように、採血 後、速やかに転倒混和して下さい。
⑥		クオンティフェ ロン専用採血管	クオンティフ エロン	4種類の採血管に規定量(1mL)採血後10 回位上下に振って、混和して下さい。採血時 間を記入して後、速やかに提出してくださ い。 採血順：①灰色②緑色③黄色④紫色 平日の17時まで受付

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
⑦		血ガス用シリンジ	血液ガス アンモニア	採血後気泡を除去し、速やかに混和し、直ちに検査部へ提出してください。
③⑤		EM マイスター ヘマトクリット 毛細管 ヘパリン処理 ソーダ石灰ガラス製	微量用 血液ガス アンモニア	
③⑥		マリンフィールド ドガラス毛細管 (緑) クリア ヘパリンアンモニウム処理	微量用 生化学用	
③⑦		Microvette 微量採血管 200LH 添加剤：ヘパリンリチウム	微量用 生化学用	
⑧		鼻腔用 BR スワブ EN (輸送用)	インフルエンザ抗原 ヒトメタニューモウイルス抗原 RSV	インフルエンザ抗原：鼻腔 ヒトメタニューモウイルス抗原：鼻腔、咽頭 RSV：鼻腔

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
③4		咽頭用 メンティップ	アデノウイルス抗原 マイコプラズマ抗原 A 群溶連菌	アデノウイルス抗原：咽頭、角膜 マイコプラズマ抗原：咽頭 A 群溶連菌：咽頭、角膜
②2		滅菌 PP スクリ ューコップ	SARS-CoV-2 核酸検 出 (LAMP) (PCR)	
②9		メンティップ 病院用綿棒	SARS-CoV-2 核酸検 出 (LAMP) (PCR) SARS-CoV-2 迅速核 酸 検出(Liat)	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.2 血液検査

3.2.1 項目一覧

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
血 球 算 定 検 査	白血球数	3.3~8.6 × 10 ³ /μL	全血(EDTA-2K) 2 mL	④ ③③	30 分	血算用試験管に 分注後よく混和し てください。	電気抵抗法
	赤血球数	M 4.35~5.55 × 10 ⁶ /μL					電気抵抗法
		F 3.86~4.92 × 10 ⁶ /μL					
	ヘモグロビン	M 13.7~16.8 g/dL					シアンメトヘモグロビン法
		F 11.6~14.8 g/dL					
	ヘマトクリット	M 40.7~50.1 %					電気抵抗法
		F 35.1~44.4 %					
	平均赤血球容積 (MCV)	83.6~98.2 fL					電気抵抗法
	平均赤血球ヘモグロ ビン量(MCH)	27.5~33.2 pg					電気抵抗法
	平均赤血球ヘモグロ ビン濃度 (MCHC)	31.7~35.3 %				電気抵抗法	
血小板数	158~348 × 10 ³ /μL	電気抵抗法					
網赤血球数	0.2~2.0%	フローサイトメトリー法					
白血球分類	好中球:40.0~71.0 % 好酸球:0.2~6.8 % 好塩基球:0.0~1.0 % 単球:2.3~7.7 % リンパ球:26.2~46.6 %	探血後直ちに 提出してくださ い。	フローサイトメトリー法				

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。

日当直では、時間外緊急検査項目が対象となります。

* 記載されている材料以外でのご依頼の場合、参考値となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
形態学的検査	末梢血液像	桿状核好中球 0~19 % 分葉核好中球 25~72 % 好酸球 0~9 % 好塩基球 0~3 % 単球 0~12 % リンパ球 17~58 %	塗抹標本		当日		Wright-Giemsa 法
	骨髓像		骨髓塗抹標本		** 当日 ~ 2日	指定の依頼書を提出してください。生標本 10 枚を 15 時 30 分迄に提出してください。遅れる場合は必ずご連絡ください。	Wright-Giemsa 法
	骨髓有核細胞数	10~25 × 10 ⁴ /μL	骨髓液		** 30分	チュルク液(990 μL)に 10 μL 添加しよく混和してください。	計算盤法
	骨髓巨核球数	50~150 /μL					
	ペルオキシターゼ染色		塗抹標本		** 当日 ~ 2日	報告まで 2 日を要します。	ICSH 標準(3.3-diami nobenzidine 法) 改変法
	ズダンブラックB染色		塗抹標本			報告まで 2 日を要します。	Sudan Black B 法
	PAS染色		塗抹標本			報告まで 2 日を要します。	過ヨウ素酸シッフ法
	鉄染色		塗抹標本			報告まで 2 日を要します。	Belrin blue 法
	酸性フォスファターゼ染色		塗抹標本			標本作製後 30 分以内に提出してください。報告まで 2 日を要します。	ICSH 標準(fast garnet CBG 法) 改変法
	エステラーゼ染色		塗抹標本			** 当日 ~ 2日	標本作製後 30 分以内に提出してください。報告まで 2 日を要します。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
形態学的検査	アルカリフォスファターゼ染色 (NAP)	M 156~271 F 183~334	塗抹標本		** 当日	末梢血液像を5枚以上作製し、30分以内に提出してください。報告まで2日を要します。尚、EDTA加血算よりの標本は使用できません。	ICSH標準(朝永法)改変法
	細胞分画		穿刺液 CAPD 関節液		** 当日~ 2日		Wright-Giemsa法
	鼻汁染色		鼻汁		** 当日~ 2日	塗抹標本2枚提出	Wright-Giemsa法
	NBT還元能検査	100 %	全血(EDTA=2K)抗凝固剤を加えない生血 2 mL	④	** 当日	要予約。 検査室で実施します。	Gifford法
	白血球墨粒貪食能	貪食率 0.80~1.00 貪食度 1.79~3.85	全血(ヘパリン) 2 mL	⑬	** 当日	要予約。 検査室で実施します。	試験管法

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法	
凝固線溶検査	PT(プロトロンビン時間)	正常血漿対照値 ± 10 % INR: 1.00 ± 0.15	全血 (3.2%クエン酸Na) 1.8mL 小児・新生児は半凝固用全血 0.9mLでも可	⑨	60分	凝固専用試験管の規定線まで分注後、よく混和してください。	凝固法
	APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)	対照値 ± 25 % 正常対照血漿と比べて5秒以内の延長は正常 10秒以上延長を異常とする					凝固法
	ATⅢ(抗トロンビンⅢ活性)	80~130 %					合成基質法
	フィブリノーゲン定量	200~400 mg/dL					凝固法
	プラスミノゲン活性	80~130 %					合成基質法
	α2P1(α2プラスミンインヒビター活性)	80~130 %					合成基質法
TAT(トロンビン-抗トロンビンⅢ複合体)	< 4.0 ng/mL		** 当日		化学発光酵素免疫測定法		
プロテインC活性	70~150 % 新生児:成人の30~60 % 1歳児:成人の70 %			60分		合成基質法	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
Dダイマー	< 1.0 µg/mL	全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.8mL 小児・新生児 は半凝固用 全血 0.9mL でも可	⑨	60分	凝固専用試験管の規定 線まで分注後、よく混和し てください。	ラテックス凝集 比濁法
SF(可溶性フィブリン モノマー複合体)	< 7 µg/mL					ラテックス凝集 比濁法
PIC (プラスミン-α2 プラスミンインヒビタ ー複合体)	< 0.8 µg/mL			化学発光酵素 免疫測定法		
FDP (フィブリン分解 産物)	< 5.0 µg/mL	全血 1 mL	⑪	60分	FDP用試験管に分注後よ く混和してください。	ラテックス免疫 比濁法
APTT 補正試験		全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.8mL ×2本	⑨	** 当日	凝固専用試験管の規定線 まで分注後、よく混和して ください。 13時までに提出。	凝固法
PT 補正試験		全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.8mL ×2本	⑨	** 当日	凝固専用試験管の規定線 まで分注後、よく混和して ください。 13時までに提出	凝固法
LA 因子	陰性 < 1.1 1.1 ≤ ボーダーライン < 1.3 陽性 ≥ 1.3	全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.8mL	⑨	** 当日 ～6日	凝固専用試験管の規定線 まで分注後、よく混和して ください。	希釈ラッセル蛇 毒法
凝固因子定量	第5因子 60～140 % 第7因子 60～140 % 第8因子 60～140 % 第9因子 60～140 %	全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.8mL	⑨	** 当日 ～6日	凝固専用試験管の規定線 まで分注後、よく混和して ください。	凝固法
8因子阻止物	陽性 0.5 BU 単位以上 又は ≥ 0.5 BU 単位	全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.8mL	⑨	** 当日 ～6日	凝固専用試験管の規定線 まで分注後、よく混和して ください。	Bethesda 法
9因子阻止物	陽性 0.5 BU 単位以上 又は ≥ 0.5 BU 単位	全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.8mL				Bethesda 法

** 印は平日のみ対応可能です。

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。

日当直では、時間外緊急検査項目が対象となります。

* 記載されている材料以外でのご依頼の場合、参考値となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
血小板機能検査	出血時間	0.5～3.0分	耳朶		** 10分	入院患者については主治医が行ってください。	Duke(耳朶採血)
	血小板凝集能		全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.8mL×5		** 当日	要予約。 専用試験管が血液検査室にあります。採血は採血室で行います。	比濁法・惹起物質(ADP, コラーゲン、リストセチン)
	<p>血小板凝集能 ADP:2 μMと4 μMの濃度で、解離を伴わない明らかな二次凝集を認める。</p> <p>基準値 コラーゲン:1 μg/mLと2 μg/mLの濃度で60～90秒以内のlagtimeを伴う明らかな凝集を認め、解離を認めない。</p> <p>リストセチン:1.2 mg/mLと1.5 mg/mLの濃度で明らかな凝集を認め、解離を認めない。</p>						
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
赤血球沈降速度	赤血球沈降速度	1時間値 M 2～10 mm F 3～15 mm	全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.28 mL	⑫	60分	血沈専用試験管の白線の範囲内まで分注後、よく混和してください。	Rate 法 (Westergren 変法)
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
溶血性貧血に関する検査	赤血球浸透圧脆弱性試験 (サンフォード法)	最小抵抗 0.44～0.42 % 最大抵抗 0.34～0.32 % 抵抗幅:0.08～0.12 %	全血(EDTA-2K) 2 mL	④	** 当日	血算用試験管に分注後よく混和してください。	San-ford 法
	ハム試験	溶血を認めなければ (-)	全血(EDTA-2K) 2 mL	④	** 当日	血算用試験管に採取してください。 対照(同血液型の血算2mLとプレイン管10mL)が必要です。	酸溶血試験法
	砂糖水試験 (シュガーウォーター)	溶血を認めなければ (-)	全血 (3.2%クエン酸 Na) 1.28 mL×2	⑫	** 当日	血沈用試験管に採取してください。	蔗糖溶血試験法

** 印は平日のみ対応可能です。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
ヘモグロビンに関する検査	グリコヘモグロビンA1c	NGSP 4.9~6.0 %	全血(EDTA-2k) 2 mL	④	** 30分	血算用試験管に採取してください。	HPLC法
	ヘモグロビンF	0.9 %以下	全血(EDTA-2k) 2 mL	④	** 30分	血算用試験管に採取してください。	HPLC法
	ヘモグロビン分画	HbA ₂ 2.1~3.2 %	全血(EDTA-2k) 2 mL	④	2~3日	血算用試験管に採取してください。	セルロースアセテート膜電気泳動法
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
染色体検査	先天異常染色体検査		全血(ヘパリン) 2 mL	⑬	** 7日	無菌的にヘパリン採血後直ちに提出してください。	Gバンド法
	血液疾患染色体検査		骨髓液 末梢血 リンパ節		** 7日	無菌的にヘパリン採血後直ちに提出してください。	Qバンド法

** 印は平日のみ対応可能です。

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。
日当直では、時間外緊急検査項目が対象となります。

* 記載されている材料以外でのご依頼の場合、参考値となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.2.2 容器一覧

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
④		血算用採血管 EDTA-2K 紫色：2 mL	血液(血球計算, 血小板数, 網状赤血球数, 血液像)	血液 2.0 mL 採血し、凝固しないように、採血後、速やかに転倒混和して下さい。
⑨		凝固用採血管 (3.2 %クエン酸ナトリウム) 黒色：1.8 mL	血液(凝固・線溶)	3.2 %クエン酸ナトリウム 0.2 mL に血液 1.8 mL を正確に採血 (凝固専用試験管の規定線まで分注) し、十分転倒混和して下さい。
⑩		半凝固用採血管 (3.2 %クエン酸ナトリウム) 白色：0.9 mL	血液(凝固・線溶)	3.2 %クエン酸ナトリウム 0.1 mL に血液 0.9 mL を正確に採血 (半凝固専用試験管の規定線まで分注) し、十分転倒混和して下さい。
⑪		FDP用採血管 青色：1 mL	FDP	血液 1.0 mL 採血し、採血後、速やかに転倒混和して下さい。
⑫		血沈用採血管 (3.2%クエン酸ナトリウム) オレンジ色： 1.28 mL	血沈	3.2 %クエン酸ナトリウム 0.4 mL に血液 1.28 mL を正確に採血 (血沈専用試験管の白線の範囲内まで分注) し、十分転倒混和して下さい
⑬		ヘパリンH (ヘパリン Na) 黄緑色：2 mL	細胞性免疫検査	血液 2.0 mL 採血し、凝固しないように、採血後、速やかに転倒混和して下さい。
⑭		ヘパリン特 G (ヘパリン Na) 黄緑色：5 mL	血漿浸透圧	血液 5.0 mL 採血し、凝固しないように、採血後、速やかに転倒混和して下さい。
③③		キャピシエクトII CJ-2DK (EDTA-2K) 微量採血管	微量用 血算	0.25～0.5mL 分注してください。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.3 一般検査

3.3.1 項目一覧

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
尿一般定性検査						
色調		新鮮尿 (早朝尿,随時尿) 20 mL	⑮	30分		試験紙法
比重	1.005~1.030					屈折計法
pH	5.0~8.0					試験紙法
蛋白質定性	(-)					試験紙法
糖定性(ブドウ糖)	(-)					試験紙法
ウロビリノーゲン	(±)					試験紙法
ビリルビン	(-)					試験紙法
ケトン体	(-)					試験紙法
潜血反応	(-)					試験紙法
亜硝酸塩	(-)					試験紙法
白血球	(-)					試験紙法
尿沈渣				60分	蓄尿については原則 行いません。 定性検査に異常が認 められない場合は、 保険請求できません。	尿沈渣鏡検法
尿定量検査						
蛋白質定量	新尿 < 5 mg/dL 蓄尿 0.05~0.15 g/day	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 5 mL	⑮ ⑯	** 60分		ピロカロールレッド・モリブデン 酸錯体発色
糖定量(ブドウ糖)	新尿 2~20 mg/dL 蓄尿 40~85 mg/day	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 5 mL	⑮ ⑯	** 30分		GOD-固定化膜+H2O2 電極法 酵素法
浸透圧	新尿: 50~1300 mOsm/Kg・H2O	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 5 mL	⑮ ⑯	** 60分		氷点降下法
微量アルブミン	< 29.3 µg/mL	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 5 mL	⑮ ⑯	** 60分		免疫比濁法
β-マイクログロブ リン	< 289 µg/L	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 5 mL	⑮ ⑯	** 60分	酸性尿では変性して 低値となることがあり ます。	ラテックス凝集比濁法

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
尿 検 査	α-マイクログロブリン	男性 0.8~14.1 mg/L 女性 0.5~7.0 mg/L	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 5 mL	⑮ ⑯	** 60分	ラテックス凝集比濁法
	NAG	1.0~4.2 IU/L 0.9~2.4 IU/g.Cr	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 5 mL	⑮ ⑯	** 60分	4HP-NAG 基質法
	尿化学検査					
	蓄尿UN	2~12 g/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	ウレアゼ・GLDH 法: 消去法
	蓄尿クレアチニン	0.3~1.6 g/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	酵素法
	新尿クレアチニン		新鮮尿 5 mL	⑮	60分	酵素法
	蓄尿クレアチン	M < 0.20 g/day F < 0.43 g/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	酵素法
	蓄尿尿酸	0.1~0.8 g/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	ウリカーゼ・POD 法
	蓄尿ナトリウム	83~307 mmol/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	イオン選択電極法
	蓄尿クロール	84~298 mmol/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	イオン選択電極法
	蓄尿カリウム	26~63 mmol/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	イオン選択電極法
	蓄尿カルシウム	< 0.40 g/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	酵素法(ホスフォリパーゼ D 法)
	蓄尿無機リン	< 0.40 g/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	酵素法
	蓄尿マグネシウム	< 0.10 g/day	蓄尿 (24時間) 5 mL	⑯	60分	キシリジルブルー法
	新尿AMY		新鮮尿 5 mL	⑮	60分	JSCC 標準化対応法
	尿定性検査					
	ヘモジデリン	(-)	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 10 mL	⑮ ⑯	** 当日	Berlin blue 法
ミオグロビン	(-)	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 10 mL	⑮ ⑯	60分	ブロンドハイム塩析法	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
尿定性検査						
バラコート定性	(-)	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 10 mL	⑮ ⑯	60分		還元法
有機リン定性	(-)	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 2 mL	⑮ ⑯	60分		ニトロベンジルピリジン法
免疫学的妊娠検査						
HCG定性	(25-) IU/L	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 1mL	⑮ ⑯	30分	最小検出感度 HCG25IU/L	イムノクロマト法
HCG定量	< 2.5 mIU/mL	新鮮尿又は蓄尿 (24時間) 1mL	⑮ ⑯	** 60分		EIA 法
クリアランス検査						
クレアチニンクリアランス	GFR 70~130 mL/min	蓄尿 5mL 血清 0.3mL	⑮ ①	** 当日	依頼票に身長、 体重、蓄尿量、蓄 尿時間を記入の 上血液・尿と共に 提出してください。	酵素法
負荷試験検査						
フィッシュバーグ濃縮試験	> 850 mOsm/kg・H ₂ O	時間別尿全量	⑮	** 当日		氷点降下法
糖負荷試験	≤ 20 mg/dL	尿 5 mL	⑮	** 60分		GOD 固定化膜・H ₂ O ₂ 電極法

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
髄液検査	外見						
	色調	水様	髄液 1 mL	⑱	60分		
	濁度	微濁	髄液 1 mL				
髄液検査	キサントクロミー	(-)	髄液 1 mL	⑱	60分		
	フィブリン析出	(-)	髄液 1 mL	⑱	翌日		
	定性・定量検査						
	細胞数	0~5/μL以下 〔 新生児:20μL以下 乳児 :10μL以下 乳児以降:5μL以下 〕	髄液 1 mL	⑱	60分	穿刺時の血液混入が著明の場合は検査の意味づけが困難となります。	フローサイトメトリー法
	細胞種類						
	多形核球		髄液	⑱	60分		フローサイトメトリー法
	単核球		髄液				フローサイトメトリー法
	髄液蛋白質定量	10~40 mg/dL	髄液 0.3 mL		90分		ピロカロールレット・モリブデン酸錯体発色
	髄液糖定量	50~75 mg/dL	髄液 0.3 mL		60分		GOD-固定化膜+H2O2-電極法 酵素法
	クロール	120~125 mmol/L	髄液 0.3 mL		60分		イオン選択電極法
	LDH		髄液 0.3 mL		60分		JSGGIFCC 標準化対応法
	微量アルブミン		髄液 0.2 mL		** 90分		免疫比濁法
β-ミクログロブリン		髄液 0.2 mL	** 90分			ラテックス凝集比濁法	

※ 印は平日のみ対応可能です。

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。

日当直では、時間外緊急検査項目が対象となります。

* 記載されている材料以外でのご依頼の場合、参考値となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取容器	所要時 間	備考	測定法	
糞 便 検 査	定性・定量検査			⑬				
	便潜血免疫反応法	< 50 ng/mL	糞便 拇指頭大		** 当日		ラテックス凝集比濁法	
	便脂肪染色	(-)	糞便 拇指頭大		** 当日		ズダンⅢ染色	
	便虫卵検査							
	便虫卵直接法	(-)	糞便 拇指頭大		** 当日	赤痢アメーバの確認の場合必ず事前に連絡いただきは37℃に加温して提出してください。	薄層塗抹法	
	便虫卵集卵法	(-)	糞便 拇指頭大		** 当日		MGL 法・シヨ糖浮遊液法	
蟯虫卵検査 (セロハンテープ法)	(-)		蟯虫検査用 セロハン	** 当日		虫卵テープ法		
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取容器	所要時 間	備考	測定法	
穿 刺 液 検 査	外見			⑭	** 当日			
	色調		穿刺液 10 mL					
	濁度		穿刺液 10 mL					
	定性・定量検査							
	pH		穿刺液 0.1 mL					試験紙法
	細胞数		穿刺液 1 mL					フローサイトメトリー法
	蛋白質定量		穿刺液 0.3 mL					ビウレット法
	糖定量		穿刺液 0.2 mL					GOD-固定化膜・H2O2-電極 法 酵素法
	穿刺アミラーゼ		穿刺液 0.3 mL					JSOC 標準化対応法
	穿刺LD		穿刺液 0.3 mL					JSOC IFCC 標準化対応法
	穿刺アルブミン		穿刺液 0.3 mL					BCP 改良法
	AFP		穿刺液 0.3 mL					ECLIA 法
SCC		穿刺液 0.3 mL			CLIA 法			

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取容器	所要 時間	備考	測定法
関節液検査	外見			⑱	** 当日		
	色調		関節液 5 mL				
	濁度		関節液 5 mL				
	定性・定量検査						
	pH		関節液 0.1 mL				試験紙法
	細胞数		関節液 1 mL				フローサイトメトリー法
	ムチンロット		関節液 2 mL				酢酸加反応
	リウマチ因子定量 (RF定量)		関節液 0.3 mL				ラテックス凝集比濁法
	関節液沈渣		関節液 5 mL				結晶の有無を含む
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取容器	所要 時間	備考	測定法
胃液検査	胃液ナトリウム		胃液 0.2 mL	⑱	** 当日		イオン選択電極法
	胃液カリウム		胃液 0.2 mL				イオン選択電極法
	胃液クロール		胃液 0.2 mL				イオン選択電極法
検査項目名		基準範囲 単位	検体名 必要量	採取容器	所要 時間	備考	測定法
胆汁検査	沈渣		胆汁 10 mL	⑱	** 当日		遠心鏡検法
	浸透圧		胆汁 2 mL				氷点降下法
	CEA		胆汁 0.3 mL				CLEIA 法
	CA19-9		胆汁 0.3 mL				CLEIA 法

* 印は平日のみ対応可能です。

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。

日当直では、時間外緊急検査項目が対象となります。

* 記載されている材料以外でのご依頼の場合、参考値となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取容器	所要 時間	備考	測定法
透 析 液 検 査	細胞数		透析液 1 mL	⑱	60分	フローサイトメトリー法
	蛋白質定量		透析液 10 mL		ピロカロールレッド・モリブデン酸錯体発色	
	糖定量		透析液 1 mL		GOD-固定化膜・H2O2-電極法 酵素法	
	β-マイクログロブリン		透析液 0.2mL		ラテックス凝集比濁法	
	浸透圧		透析液 1mL		氷点降下法	
	微量アルブミン		透析液 0.2mL		免疫比濁法	
	尿素窒素		透析液 0.3mL		ウレアゼ・GLDH 法: 消去法	
	クレアチニン		透析液 0.3mL		酵素法	
	ナトリウム		透析液 0.3mL		イオン選択電極法	
	カリウム		透析液 0.3mL		イオン選択電極法	
	クロール		透析液 0.3mL		イオン選択電極法	
	尿酸		透析液 0.3mL		ウリカーゼ POD 法	
	カルシウム		透析液 0.3mL		酵素法(ホスフォリパーゼ D 法)	
	無機リン		透析液 0.3mL		酵素法	
	総コレステロール		透析液 0.3mL		酵素法	
	トリグリセライド		透析液 0.3mL		酵素法	
アミラーゼ		透析液 0.3mL	JSCC 標準化対応法			

検査項目名	基準範囲 単位	検体名 必要量	採取 容器	所要 時間	備考	測定法
そ の 他 関 連 項 目	血清浸透圧	275~290 mOsm/kg・H2O	血清 1 mL	①	** 当日	氷点降下法
	血漿浸透圧	〃	血漿 1 mL	⑭	** 当日	氷点降下法
	血清 β-マイクログロブリン	< 2.0 mg/L	血清 0.3 mL	①	** 70分	ラテックス凝集比濁法
	尿素呼気試験	(-)	呼気		** 30分	検査は採血室で行います 問い合わせは採血室へご連絡ください。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.3.2 容器一覧

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
⑮		新尿ハルンカップ	尿(生化学一般検査) 尿(沈渣)	25 ml 以上採取して下さい。
⑯		蓄尿ハルンカップ	尿(生化学一般検査)	24 時間蓄尿の場合は、よく混和させ、必要量を採取して下さい。必ず蓄尿量を明記して下さい。
⑰		蓄尿ビン	尿(生化学一般検査)	24 時間蓄尿の場合は、よく混和させ、必要量を採取して下さい。必ず蓄尿量を明記して下さい。 蓄尿ビンのまま提出も可能です。
⑰		塩酸蓄尿ビン 6N-HCL 入り ラベル表示	カテコールアミン3分画 HVA 定量 VMA 定量 メタネフリン 2分画	24 時間蓄尿の場合は、よく混和させ、必要量を採取して下さい。必ず蓄尿量を明記して下さい。 蓄尿ビンのまま提出も可能です。

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
⑱		穿刺液用滅菌スピッツ (緑)	穿刺液 髄液 関節液 透析液	
⑲		採便容器	便潜血 便中脂肪染色 虫卵	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.4 血液型・クームス・輸血検査

3.4.1 項目一覧

検査項目	検体量 (ml)	検査 材料	採取容器	検査方法	所要 時間
ABO 血液型	7.0	全血	⑳ ㉓	カラム凝集法	2 時間
RhD				カラム凝集法	2 時間
Rh その他の因子				用手法	2 時間
詳細直接クームス				カラム凝集法	2 時間
血液型自費				カラム凝集法	2 時間
血液型・亜型検査				用手法	2 日
糖転移酵素				用手法	2 日
ABO 式 HDN				用手法	当日
Rh その他 HDN				用手法	当日
抗 A・抗 B 抗体価				用手法	当日
不規則抗体価				用手法	当日
HLA 抗体スクリーニン グ (移植前・後)				5.0	血清
HLA 抗体特異性同定検 査クラス I (移植前・後)	5.0	血清	②	Luminex 法	1 週間
HLA 抗体特異性同定検 査クラス II (移植前・後)	5.0	血清	②	Luminex 法	1 週間
造血器腫瘍 FCM 検査 白血球パネル リンパ腫パネル ミエローマパネル MRD/B リンパ腫	骨髓 末梢血 胸腹水 リンパ節 他	ヘパリン加 リンパ節は 喀痰容器		FCM 法	当日 15:30 以降 の検体到着 は翌日

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.4.2 容器一覧

容器No.	容器	容器名称	検査項目	備考
⑳		EDTA-2Na 入り真空採血管 紫色：7 mL	血液(血液型, 交差試験, クームス試験)	血液 7.0mL 採血し、凝固しないように、採血後、速やかに転倒混和して下さい。
㉓		キャピシエクトII CJ-2DK (EDTA-2K) 微量採血管		100μL ~ 500μL 分注してください。
㉒		プレイン採血管 黄土色：3 mL ピンク色：5 mL	HLA 抗体スクリーニング検査 HLA 抗体特異性同定検査	
⑱		穿刺液用滅菌スピッツ (白)	造血器腫瘍 FCM 検査	ヘパリン加で採取し混和して分注
⑭		ヘパリン特 G	造血器腫瘍 FCM 検査	凝固しないよう混和して下さい
㉒		滅菌 PP スクリューコップ	造血器腫瘍 FCM 検査	リンパ節は乾燥しないよう生理食塩液で (ガーゼ) 湿らせて下さい

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.5 細菌検査

3.5.1 項目一覧

検査項目名		検体名 必要量	採取容器	所要時間	検査法	採取条件
塗抹・ 培養検査	一般細菌培養検査		滅菌スピッツ <u>シードスワブr2号</u> シードスワブr3号 滅菌 PP スクリューコップ 滅菌遠心チューブ 50 mL 嫌気ポーター <u>シードスワブMRSA</u> 採便管	24~48 時間		検体採取の方法の項参照
	抗酸菌群培養検査		滅菌スピッツ 滅菌 PP スクリューコップ 滅菌遠心チューブ 50 mL	4~8 週間		
	血液培養検査		血液培養ボトル	5 日~6 週間		
抗原検査	糞便中 クロストリジウム D1 毒素試験	母指頭大 (1g 以上)	採便管	20 分	イムノクロマト法	一般培養検体と同一検体で測定可能です。ただし、毒素試験はスワブでの検査はできません。
遺伝子検査	Film Array ・髄膜炎脳炎パネル ・呼吸器パネル ・血液培養パネル	髄液 1mL 鼻咽頭拭い 液	滅菌スピッツ コパン UTM	髄膜炎脳炎 90 分 呼吸器 60 分 血液 60 分	Nested PCR	検体採取の方法の項参照

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.5.2 容器一覧

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
⑩		穿刺液用滅菌スピッツ(白)	尿 髄液 CAPD液 膿材料 生検組織材料 穿刺液(腹水、胸水、関節液等) 胆汁 カテーテル先端 体内挿入器材 胃液	
⑪		<u>シードスワブr2号</u> シードスワブr3号	膿材料(創部、耳漏等) 生殖器系分泌物 舌白苔 鼻腔、咽頭 眼科材料 <u>MRSA 培養</u>	
⑫		滅菌 PP スクリューコップ	喀痰	
⑬		滅菌遠心チューブ 50 mL	CAPD液	
⑭		嫌気ポーター	膿材料 嫌気性菌目の培養材料	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
25		シードスワブ-MRSA	MRSA培養	
26		採便管	便	
27		血液培養ボトル ①好気用 92F BACTEC PLUS+Aerobic/F ②嫌気用 93F BACTEC PLUS+Anaerobic/F ③小児用 92F BACTEC PEDS PLUS/F ④真菌・抗酸菌用ボトル(マイコフ)	血液	
28		コパン UTM	Film Array 呼吸器パネル用	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.5.3 検体採取法

検体の種類	採取容器	検体量	採取条件
自然排泄中間尿	⑱	5～10 mL	(採取時間) 可能な限り起床時に採取してください。
カテーテル尿	⑱	5～10 mL	(適応) 中間尿により適切な検体が得られない時 (採取方法) カテーテルの端から流出尿を採取してください。ただしカテーテルバックに留置した尿は避けてください。
膀胱穿刺液	⑱	5～10 mL	(適応) 尿道閉鎖時、外陰部に高度にびらんや潰瘍が形成され、汚染が強く適切な検体の得られない場合。
喀痰	㉒	5～7 mL	(採取時期) 原則として急性期に抗生物質を投与する前に提出してください。 (採取方法) 採取に先立ち患者さんに、水道水で5～6回うがいをしてから喀出させてください。
気管支洗浄液	⑱	2～3 mL	
気管支ブラッシング			
経気管吸引物	⑱	2～3 mL	
咽頭／喀痰代用	㉑	適量	
咽頭粘液、扁桃舌白苔	㉑	適量	
気管チューブ	㉑	適量	培養目的部分をスワブで拭ってください。
鼻咽腔スワブ	㉑	適量	
糞便材料	㉔	母指頭大 適量 水溶便 5 mL 程度	(採取時期) 発病初期の急性下痢便を提出してください。 (採取方法) 病原菌は一般に膿性部分や粘性部分に多く存在するので、そのような部分を採取してください。
膿、褥創、耳漏、創部	㉑、㉔	適量	(採取方法) 皮膚や粘膜から検体を採取する場合は、なるべく常在菌の影響を受けないように採取してください。閉鎖性膿瘍の場合は、嫌気性菌の関与する頻度が高いので、空気と接触を絶って膿汁を穿刺吸引し、嫌気ポーターに採取してください。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検体の種類	採取容器	検体量	採取条件
ガーゼ	⑳、㉔	適量	(採取時の注意) 患者ガーゼを直接提出では、酸素との接触、乾燥、消毒液の付着などから菌の検出率が低下するといわれていますので、シードスワブなどによる採取を推奨します。
剖検材料	⑳、㉔	適量	
血液培養	㉔	<成人> 培養ボトル 2 本に 3~10 mL <小児> 小児用培養ボトル に 1~3 mL <抗酸菌・真菌> マイコボトル 1~5 mL	(採取時期及び回数) 原則として採血は抗生物質を投与する前に行います。すでに化学療法が開始されている場合には薬剤の血中濃度が最も低い時期を選んで繰り返し採血してください。 血液から細菌を検出する場合は、1 回の採血だけではなく、24 時間以内において間隔をあけて 3~4 回血液培養を実施してください。
髄液	⑳	1 mL 以上	(採取上の注意) 採取に際して、皮膚には常在菌が多数存在しているので、コンタミネーションを防ぐため、穿刺部位の皮膚の消毒を厳重に行ってください。 (検体の取り扱い方) 無菌的に採取した髄液は速やかに検査室に提出してください。細胞数等の他の検査を同時に行う場合はできるだけスピッツを別に分けて提出してください。
腹水、胸水、関節液等の穿刺液	⑳、㉔	1 mL 以上	(採取時期) 化学療法前に無菌的に採取してください。
眼脂、角膜擦過物	㉔	適量	(採取上の注意) 点眼麻酔剤には抗菌作用があるので、検体採取時には使用しないでください。
胆汁、十二指腸液 (嫌気ポータで提出されれば一般細菌、嫌気性菌とも同一検体で測定可能です)	⑳、㉔	5~10 mL	(採取上の注意) 検体採取後、嫌気ポーターまたはシリンジのまま提出される場合は、空気の混入を避けて提出してください。
胃液	⑳	5~10 mL	

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

検体の種類	採取容器	検体量	採取条件
カテーテル先端	⑱	適量	(注意) 分離菌評価のため、できるだけ血液培養を同時に提出してください。生食を加えないでください。
体内挿入器材	⑱	適量	
ドレーン排液	⑱、㉔	5~10 mL	嫌気性菌を疑う場合は、嫌気ポーターで採取してください。
CAPD 液	⑱、㉓	5~50 mL	
生検組織材料	⑱、㉒㉔	適量	嫌気性菌を疑う場合は、嫌気ポーターで採取してください。
その他皮膚、爪等	⑱、㉑㉒	適量	
術前 MRSA 検査	㉕	適量	専用スワブ (シードスワブ MRSA) で採取してください。
Film Array	⑱、㉓	髄液 0.5~1ml 鼻腔咽頭拭い液 適量 血液培養陽性液 適量	呼吸器パネルの鼻腔咽頭拭い液は㉓の容器で採取してください。 血液培養パネルは血液培養陽性液で実施。

外注検査項目については、各外注委託先の総合検査案内に準じる。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.6 生理検査

3.6.1 項目一覧

1) 心電図検査室

検査項目	検査方法	検査所要時間
心電図（標準12誘導）	安静仰臥位で標準12誘導記録	約10分
マスター2階段運動負荷試験	マスターの2階段の昇降を1分30秒から4分30秒行い、負荷直後、3分後・5分後の標準12誘導を記録する。	約20分
体表面心電図（レートポテンシャル）	ベクトルマグニチュード法を用い、QRS200拍の平均加算によりQRS終末部の微小遅延電位を記録する。	約20分
自律神経機能検査（深呼吸法）	10分安静後、安静時と深呼吸時のR-R間隔100拍の変動（Mean, SD, CV, max/min）を計測する。	約15分
自律神経機能検査（立位）	10分安静後、安静時、起立直後、起立5分後のR-R間隔100拍の変動（Mean, SD, CV, max/min）を計測する。	約15分
起立性調節試験	10分安静後の心電図を記録し、安静時、起立直後、5分後、10分後、 <u>15分後</u> の四肢誘導、心拍数、血圧を記録測定する。	約20分
ホルター心電図	胸部に2chまたは3chの電極を装着し、レコーダで24時間心電図を記録する。	約20分
脈波伝搬速度検査（PWV・ABI）	血管の硬さを計測するため、心電図、心音、両手両足の血圧・脈波を同時測定し、脈波の伝搬速度を算出する。	約15分
トレッドミル運動負荷試験	トレッドミルを用いて、年齢最大目標心拍数の80%程度までの運動負荷を行いながら心電図を記録する。	約30分

※ホルター心電図検査所要時間にはレポート解析時間は含まれません。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

2) 肺機能検査室

検査項目	検査方法	検査所要時間
肺活量 (VC)	安静換気を数回測定した後、最大吸気位、最大呼気位まで呼出し、肺の容量を測定する。	約 10 分
努力性肺活量 (FVC)	最大吸気位よりできるだけ速く呼出し、1 秒率などを測定し、気道の閉塞状態を検査する。	約 10 分
機能的残気量 (FRC)	ヘリウムガスを用いて安静換気を 3～5 分行い機能的残気量を測定する。	約 20 分
クロージングボリューム (CV)	最大呼気位より、ゆっくりと 100 %酸素を最大吸気位まで吸気し、ゆっくり最大呼気位まで呼出し、第Ⅲ相の傾き (ΔN_2) および第Ⅳ相 (CV) を測定し、末梢気道病変を検査する。	約 20 分
肺拡散能力 (DLCO)	最大呼気位から 4 種混合ガスを急速に最大吸気位まで吸気、10 秒息止め後、急速に呼出し CO ガスの吸収量を測定し、肺拡散能を検査する。	約 15 分
気管支可逆性試験 (BRI)	気管支拡張剤吸入前後の FVC を測定する。それぞれの 1 秒量の改善量と改善率を算出し、可逆性の有無を検査する。	約 30 分
広域呼吸抵抗 (モストグラフ)	口元から広域周波数を含む圧をかけた状態で安静換気を行い、呼吸抵抗を測定する。	約 20 分
気道過敏性試験 (アストグラフ)	低濃度 (49 $\mu\text{g/ml}$) から徐々に高濃度までのメサコリンを吸入し、その間の呼吸抵抗を測定し、気道の過敏性を検査する。	約 30 分
基礎代謝 (BMR)	安静仰臥位の状態で安静換気を 6 分間行い、その間の酸素摂取量を測定し、基礎代謝量、基礎代謝率を検査する。	約 30 分
心肺運動負荷試験	運動負荷 (エルゴメーター) 中の酸素摂取量、二酸化炭素排出量、換気量及び ECG、血圧の変化を測定し、運動対応能を検査する。	約 30 分
簡易終夜睡眠ポリグラフ	口鼻、胸腹、SpO ₂ のセンサーを装着し、睡眠中の呼吸状態を記録して無呼吸の種類と無呼吸低呼吸指数 (AHI) を検査する。	一晚
終夜睡眠ポリグラフ	簡易終夜睡眠ポリグラフに脳波電極、筋電図センサーを加え、睡眠ステージ、睡眠中の無呼吸の種類と無呼吸低呼吸指数 (AHI) を検査する。	一晚

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

終夜酸素飽和度測定	睡眠中に指にセンサーを付け SpO2 を測定する。	一晚
呼気 NO 検査	最大呼気位から最大吸気し、所定の速度で呼出し呼気 NO 濃度を測定する。好酸球気道炎症のモニタリングとしての検査。	約 10 分
サーモグラム	各体位で 10～15 分の馴化時間の後、サーモグラムを記録し、皮膚温を測定する。 冷水負荷は 10℃1 分の負荷をおこなう。	約 60 分

3) 脳波検査室

検査項目	検査方法	検査所要時間
普通脳波	10/20 法により電極を装着し単極誘導、双極誘導で記録する。	約 50 分
負荷脳波	普通脳波に加え、睡眠脳波、音刺激、光刺激、過呼吸を行う。	約 1 時間
ポリグラフ+脳波	眼球運動、筋電図等を脳波と共に記録する。	約 1 時間
終夜脳波	10/20 法により電極を装着し、ポータブル脳波記録装置をベッドサイドに設置終夜記録する。	-
誘発筋電図		
NCV (H波、F波含む)	パルス電流 (以下電気刺激) で末梢神経を刺激し、導出した活動電位から速度、振幅などを求める。	約 30 分
Blink Reflex	三叉神経をランダムに電気刺激し、眼輪筋より得られた 2 種類の M 波の潜時から、この反射経路の障害を評価する。	約 30 分
反復刺激試験	低～高頻度刺激で末梢、顔面神経を電気刺激し、得られた M 波振幅の漸減、漸増現象の有無をみる。	約 30 分
ENoG	主に Bell 麻痺の経過観察に有用で顔面神経を電気刺激し、眼輪筋と口輪筋から得られた M 波の潜時と振幅を計測する。	約 30 分
大脳誘発電位		
聴性脳幹反応 (ABR)	ヘッドホから音刺激を与え、頭皮上から 10 ms 以内に誘発される電位で、聴神経路や脳幹部の障害を評価する。	約 1 時間
中間潜時反応 (MNR)	音刺激によって頭皮上から誘発される誘発電位のうち ABR に続いて 50 ms 以内に出現する反応。	1 時間～2 時間

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

頭頂部緩反応 (SVR)	ABR が特殊聴覚路を経路とする反応であるのに対し SVR は非特殊的広範投射系を経路とする電位で大脳皮質広範で記録される 500~1000 ms の間に出現する反応。	1 時間~2 時間
体性感覚誘発電位 (SEP)	四肢の知覚神経に電気刺激を与えることにより頭皮上から誘発される電位で、末梢から中枢に至る知覚神経系の障害を評価する。	約 1 時間
<u>C-Reflex</u> <u>C-Reflex</u>	末梢神経を電気刺激し、得られた SEP と反射波 (C-Reflex) から、大脳皮質も含め、この反射経路の機能評価を行う。	約 1 時間
運動準備電位 (MRP)	随意運動に伴い頭皮上から記録される電位で随意運動開始時点をトリガーにその前後の脳波を平均加算する方法。	1 時間~2 時間
<u>事像事象</u> 関連電位 (ERP)	種類の異なった音 (画像) などをランダムに聴かせ (見せ)、一方の音 (画像) だけを数えさせる。この時の認識反応を頭皮上から導出する。 300 ms あたりに反応波形が出現する。認知能力の評価として有用。	1 時間~2 時間

* 眼底カメラ (内分泌代謝科と腎臓内科のみオーダー可、その他の科は要連絡)

* ASSR (耳鼻科のみオーダー可)

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

4) 超音波検査室

検査項目	検査方法	検査所要時間
腹部 (肝・胆・膵・脾・腎)	超音波診断装置(Bモード断層法)を用い検査する。	20分～40分
腹部+婦人科または泌尿器 (肝・胆・膵・脾・腎・膀胱・子宮・卵巣・前立腺)	尿充満後、超音波診断装置(Bモード断層法)を用い検査する。	20分～40分
腎 (腎・膀胱・子宮・卵巣・前立腺)		20分～40分
腹部血管 (腹部大動脈・腎動脈)	超音波診断装置(Bモード断層法・ドプラ法)を用い検査する。	30分～40分
心臓	超音波診断装置(Bモード断層法・Mモード法・ドプラ法)を用い検査する。	20分～40分
乳腺※	超音波診断装置(Bモード断層法)を用い検査する。	20分～30分
頸部※ (甲状腺・副甲状腺・顎下腺・耳下腺・リンパ節)		20分～30分
頸動脈	超音波診断装置(Bモード断層法・ドプラ法)を用い検査する。	30分～50分
下肢深部静脈		30分～60分
下肢表在静脈		60分～120分
下肢動脈		30分～60分
その他※	超音波診断装置(Bモード断層法)を用い検査する。	20分～30分
(上記以外)		

※検査時間は所見の有無によって上記、所要時間を超えることがあります。

また、検査所要時間にはレポート作成時間および判読までの時間は含まれません。

※穿刺吸引細胞診がある場合 30分程度延長となります。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.7 病理検査

3.7.1 項目一覧

1) 組織診断検査

* 1 脱脂処理や脱灰処理が必要な症例に関してはさらに日数を要する場合があります。

検査項目	提出材料	採取容器	保存	所要日数*1	検査方法
組織診断検査	10%中性緩衝ホルマリン固定検体（生検、内視鏡検体等）	㊸ ㊹ などホルマリンを入れ密閉できる容器で提出してください。	室温	3日～7日	ヘマトキシリン・エオジン染色 病理専門医による検鏡診断
	未固定検体（手術検体等）	種類は問いませんが、密閉した状態（タッパー、袋など）で速やかに提出してください。	室温	8日～21日	

* 1 脱脂処理や脱灰処理が必要な症例に関してはさらに日数を要する場合があります。

検査項目	提出材料	採取容器	保存	所要時間	検査方法
蛍光抗体用検体	凍結組織	㊺	-80℃～-60℃	14日～30日	蛍光抗体法 （凍結切片） 病理専門医による検鏡診断

2) 術中迅速診断

検査項目	提出材料	容器	保存	所要時間	検査方法
術中迅速組織診断	未固定組織	種類は問いませんが、密閉した状態（タッパー、袋など）で提出してください。	室温	15分～45分	ヘマトキシリン・エオジン染色 （凍結切片） 病理専門医による検鏡診断
術中迅速細胞診断	胸水・腹水・胸腔洗浄液・腹腔洗浄液	㊻	室温	25分～50分	パパニコロウ染色 細胞検査士によるスクリーニング 病理専門医による検鏡診断

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3) 細胞診断検査

検査項目	提出材料	採取容器	固定液	保存	所要時間	検査方法
細胞診断検査	スライドガラス 塗抹標本(婦人科、呼吸器、穿刺吸引材料など)		95%エタノール	室温	2日～7日	パパニコロウ染色 細胞検査士によるスクリーニング 病理専門医による検鏡診断
	喀痰	②②		室温		
	尿	⑮ ⑱		室温		
	胸水、腹水、心嚢水などの体腔液	⑮ ⑱ ㉓		室温		
	胆汁、膝液	⑮ ⑱ ㉓		2℃～8℃ (氷冷)		
	穿刺吸引材料 (リンパ節、甲状腺、乳腺など液状検体)	⑮ ⑱ ㉓		室温		

*細胞変性を防止するため、原則直ちに提出してください。直ちに提出できない場合は冷蔵保存のうえ、受付時間内に提出してください。

「所要時間」は検査室に検体が届いてから結果が出るまでの時間です。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.7.2 容器一覧

容器 No.	容器	容器名称	検査項目	備考
③⑩		10 %中性緩衝ホルマリン容器 (25 ml)	生検検体 (組織診断検査)	検体がホルマリンに浸透し固定されるように、十分な大きさの容器に入れてください。
③①		広口 T 型瓶 (300 ml)	生検検体、手術検体 (組織診断検査)	検体がホルマリンに浸透し固定されるように、十分な大きさの容器に入れてください。
③②		クリオモルド 2号	蛍光抗体用検体 (蛍光抗体法)	採取後は容器の底に組織検体があることが分かるようにコンパウンド (凍結組織用包埋剤) を入れて凍結させて提出して下さい。
①⑤		新尿ハルンカップ	尿 (細胞診)	
①⑧		穿刺液用滅菌スピッツ	尿、脳脊髄液、気管支洗浄液、膿材料 穿刺液 (腹水、胸水、関節液等) 胆汁、膵液 カテーテル 体内挿入器材 生検組織材料	
②②		滅菌 PP スクリューコップ	喀痰	
②③		滅菌遠心チューブ 50 mL	気管支洗浄液	

*セルブロックの検体容器は 500 mL のボトルやシリンジ、スピッツなどの検体が漏れない容器で提出してください。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3.7.3 検体採取法

検体の種類	採取容器	検体量	採取条件
生検検体 手術検体	⑱ ㉓ ㉔⑳㉑ など	適量	採取した組織は自家融解や乾燥から防ぐため、直ちに10%中性緩衝ホルマリン液が入った容器に入れ、固定して下さい。
蛍光検体	⑳		採取後は、容器の底に組織検体があることが分かるように凍結させて提出して下さい。
スライドガラス塗抹検体 (婦人科、呼吸器、 穿刺吸引材料など)			スライドガラスに塗抹した検体は、塗抹後直ちに95%エタノールに入れて固定して下さい。 リンパ節穿刺や造血管疾患が疑われる検体の場合は、メイギムザ染色標本用に乾燥固定させたスライドガラスも提出して下さい。
自然尿	⑱ ㉒	5 mL～50 mL	自然尿は早朝尿を避け、随時尿を提出してください。
カテーテル尿	⑱ ㉒	5 mL～10 mL	適応： 中間尿により適切な検体を得られない時 採取方法：カテーテルの端から流出尿を採取して下さい。 但し、カテーテルバックに留置した尿は避けて下さい。
喀痰	⑱ ㉓ ㉔	2 mL～7 mL	(採取方法) 採取に先立ち患者さんに、水道水で5回～6回うがいをしてから喀出させて下さい。
気管支洗浄液	⑱、㉔	2 mL～10 mL	
気管支ブラッシング	⑱	適量	
膿、褥創、耳漏、創部	⑱	適量	
髄液	⑱	1 mL 以上	(検体の取り扱い方) 脳脊髄液は速やかに病理診断部に提出してください。
腹水、胸水、関節液等の 穿刺液	⑱	5 mL～10 mL	セルブロック作製や検体保存を希望の場合は、さらに多くの検体量が必要な場合があります。
眼科領域材料	⑱	適量	
胆汁、膵液	⑱	5 mL～10 mL	(採取上の注意) 氷冷して速やかに病理診断部に提出して下さい。
胆管擦過、膵管擦過	⑱	適量	
検体の種類	採取容器	検体量	採取条件
膵の EUS-FNA	⑱	2 mL～10 mL	

外注検査項目については、各外注委託先の総合検査案内に準じる。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

4. 時間外緊急検査項目一覧

<業務時間>

平日 時間外(夜間) 16:00 ~ 翌9:00
休日 24時間対応

	検査項目
一般検査	尿一般定性検査(色調・比重・pH・蛋白質定性・糖定性・ウロビリノーゲン・ビリルビン・ケトン体・潜血反応・亜硝酸塩・白血球)・尿沈渣・ミオグロビン定性・HCG 定性・髄液検査(色調・濁度・キサントクロミー・細胞数・細胞分類・蛋白定量・糖定量・クロール・LDH)・透析液検査(細胞数のみ)・パラコート定性・有機リン定性・尿中乱用薬物検査
血液検査	WBC・RBC・Hb・Ht・MCV・MCH・MCHC・PLT・網状赤血球数・白血球分類・赤血球沈降速度・PT・APTT・ATⅢ・フィブリノーゲン定量・プラスミノゲン活性・α2PI・プロテインC・Dダイマー・SF(可溶性フィブリンモノマー複合体)・FDP
生化学検査	CRP・TP・ALB・BUN・クレアチニン・尿酸・アンモニア・総ビリルビン・直接ビリルビン・総胆汁酸・黄疸指数・アンバウンドビリルビン(日直のみ)・Na・K・Cl・Ca・イオン化Ca・イオン化Mg・IP・Mg・Fe・UIBC・AST(GOT)・ALT(GPT)・ALP・AMY・リパーゼ・CHE・CK・CK-MB 活性・γ-GT・LDH・AA・血糖・グリコアルブミン・TG・総コレステロール・HDL-コレステロール・HDL比・LDL 計算値・LDL-コレステロール・トロポニンT 定性・フェノバルビタール・フェニトイン・カルバマゼピン・バルプロ酸・テオフィリン・ジゴキシン・リチウム・バンコマイシン・ゲンタマイシン・メソトレキセート・シクロスポリン・タクロリムス・エタノール・血液ガス・代謝項目・ヘモグロビン分画・乳酸
免疫血清検査	RPR 定性・HBs抗原・HCV 抗体・HIV 抗原抗体・HTLV I / II 抗体・インフルエンザ AB 抗原・アデノウイルス抗原・ヒトメタニューモウイルス抗原・尿中肺炎球菌莢膜抗原・尿中レジオネラ LPS 抗原・RSV 抗原・A 群溶連菌抗原・O-157 抗原直接検出・ノロウイルス抗原・便中ロタ、アデノウイルス抗原・PCT(プロカルシトニン)・NT-proBNP・トロポニンT 定量・コロナウイルス核酸定量
細菌検査	抗酸菌染色(ガフキー至急の場合)・髄液のグラム染色(必要な場合のみ)

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

5. 検査依頼

オーダーリングシステムによる依頼と、伝票(特殊項目など)による依頼がある。

なお、口頭による依頼は受け付けない。

5.1 オーダーリングシステムによる依頼

医療情報システムから検査依頼を行う。

- 1) JUMP2システムより担当医が患者IDを入力して、患者情報画面を開く。
- 2) 検査>検体、細菌、病理、生理の画面を開き、必要な検査を依頼する。
- 3) ラベルと採取指示リストが発行された場合は、ラベルを採取検体に貼り採取指示リストと一緒に検査室へ提出する
- 4) 外来で採取場所を採血室に指定した当日依頼の場合には、採血室で、担当医から依頼された患者情報により採取指示リストの出力と BC-ROBO より採取すべき試験管にラベルが貼られ準備されるので、患者検体を採取し、すみやかに検査室へ提出する。

外来予約の場合、予約前日の午前と午後に医療情報システムの患者情報により予約日の採取指示リストと採血管を BC-ROBO で準備する。

病棟予約の場合、予約前日の午後(3時頃)に医療情報システムの患者情報により予約日の採取指示リストと採血管を BC-ROBO で病棟ごとに準備する。

5) 病理検査依頼

(1) 組織診断検査

電子カルテで組織診オーダーを入力する。出力された依頼書にシェーマなどを追記することも可能である。臨床経過および所見等は詳細に入力する。また、複数個、複数部位の検体を提出する場合は、検体との照合のために臓器名や部位、容器 No、提出個数などを必ず記入する。提出検体と検査申込書を一緒に病理診断部に提出する。

(2) 術中迅速診断

術中迅速診断は予約制であるため、前日までに電子カルテで術中迅速オーダーを入力する。依頼入力すると出力された依頼書にシェーマなどを追記する。臨床経過および所見等は詳細に入力する。

(3) 細胞診断検査

電子カルテで細胞診オーダーを入力する。臨床経過および所見等は詳細に入力する。出力された依頼書にシェーマなどを追記する。また、複数個、複数部位の検体を提出する場合は、検体との照合のために臓器名や部位、容器 No、提出個数などを必ず記入する。提出検体と検査申込書を一緒に病理診断部に提出する。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

5.2 伝票による依頼

5.2.1 特殊項目

- 1) 指定の用紙に、患者 ID、氏名、生年月日、性別、採取日、検査項目（検体種別）、主治医名等、必要事項を記入する。
- 2) 採取検体に、患者 ID、氏名等を記入し、伝票とともに検査室へ提出する。

5.2.2 システムダウン時

- 1) 担当医が指定の用紙（マークシート）に、患者 ID、氏名、生年月日、性別、所属採取日、検査項目（検体種別）、主治医名等、必要事項を記入する。
- 2) 採取検体に患者 ID、氏名等を記入し、マークシートとともに検査室へ提出する。

6. ラベル内容

- ・ 検査受付番号
- ・ 検査項目
- ・ 緊急の有無
- ・ 患者氏名
- ・ 患者 ID
- ・ 所属
- ・ 採取容器
- ・ バーコード
- ・ 検査項目詳細
- ・ 採取日
- ・ オーダーコメント

7. 検体採取手順

7.1 外来検体

- 1) 採血受付にて、バーコードリーダーで呼出し端末のバーコードを読み取る。
- 2) 患者用受付機から「整理券」が発行される。
- 3) 検査室用受付プリンターから「検査室用整理券」「採取指示リスト」が同時に出力され、BC-ROBO で採血管が、ハルンカップラベラーで採尿カップが作成される。
- 4) 出力された「採取指示リスト」と「検査室用整理券」に表示された検体番号、「作成された採血管、採尿カップ」を照合し間違いのないことを確認する。
- 5) 採尿のある患者には、本人確認の上、採尿カップを渡し先に採尿してもらう。
- 6) 採血は整理券番号順に順次行う。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

7.2 病棟検体

- 1) 前日 BC-ROBO でラベル・採血管の準備をする。「採取指示リスト」も同時に出力される。
- 2) 手張りラベルが出力されたものは、指定された専用容器を準備する。
- 3) 採取指示リストの検体番号と袋の検体番号、専用容器があっている事を確かめ、ステープルで留める。
- 4) 病棟ごとにまとめて、病棟に届ける。

7.3 検体採取方法

7.3.1 血液採取

1) 採血法

「標準採血法ガイドライン (GP4-A3)」に準じて血液採取を行う。

- (1) 患者自身に氏名・生年月日を言ってもらおう。
 - * 話せない患者は別の方法で確認する。
- (2) 採取指示リストの検体番号と採血管の検体番号、患者氏名が一致していることを確認する。
 - * 食抜ありの場合は食後時間の確認をする。
 - * 尿検査がある場合は採尿の未採取、既採取を確認する。
 - * 採取指示リストのコメントを確認する。
 - デ：アルコール消毒禁・・・ヘキシジン消毒
 - 寒：寒冷凝集有り・・・血算の採血管を加温して採血後すぐ測定
 - 高：ヘマトクリット高値・・・血清の採血量を増やす
 - 損：神経損傷・・・患者から聞き取りを行い十分に注意して採血を行う
 - 倒：転倒注意・・・患者から聞き取りを行いベッドで採血などの対応をする
 - 駆：駆血注意・・・皮下出血し易いため注意
 - 難：採血困難・・・患者から聞き取りを行い十分に注意して採血を行う
- (3) 採血を実施する。
- (4) 穿刺部位は、そのまま消毒綿を当てて圧迫して止血する。
- (5) 穿刺部に絆創膏を貼り、5分間押さえる様に言う。
 - * 押さえられない場合や止血しづらい方は自着性伸縮包帯を巻き、10分位ではずすように言う。
- (6) 伝票（特殊項目など）の検体提出の場合、伝票と検体を一緒にして提出する。
- (7) 検体は受取確認を行い、搬送まで依頼ラベルの指示に従い所定の場所に保管する。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

2) 採血前に処置が必要な検査項目

(1) グルコース負荷試験

① グルコース負荷試験 (75GTT)

- a. 依頼がグルコース負荷試験「トレラン G75」であることを確認する。
 - b. 食事抜きである事を確認する。
 - c. 採血管を確認し、負荷前血糖採血を実施する。
 - d. 指示によるトレラン G75 を全量飲んでもらう。
 - e. 指定された時間に再度採血を実施する。
 - f. 採血後、受取確認を行い搬送する。
- ※ 採血時間は担当医の指示に従う。

② グルコース負荷試験 (50GTT)

- a. 依頼がグルコース負荷試験「トレラン G50」であることを確認する。
 - b. 指示によるトレラン G50 を全量飲んでもらう。
 - c. 指定された時間に再度採血を実施する。
 - d. 検体は受取確認を行い搬送する。
- ※ 採血時間は担当医の指示に従う。

(2) レニン・カテコラミン・アルドステロン・コルチゾール, ACTH 等 60分安静採血

① 患者をベッドに案内し 60分安静にしてもらう。

※ 睡眠は良いが、携帯・読書・会話・頻回な寝返り等は不可。

② 採血管を確認し、仰臥位で採血を実施する。

③ 検体は受取確認を行い搬送する。

※ 安静時間は担当医の指示に従う。

(3) カプトリル負荷試験

① 患者をベッドに案内し 30分安静にしてもらう。

※ 睡眠は良いが、携帯・読書・会話・頻回な寝返り等は不可。

② 採血管を確認し、仰臥位で負荷前採血を実施する。

③ カプトリルを服用する。

④ 60分安静にする。

⑤ 負荷後の採血を仰臥位で実施する。

⑥ 検体は受取確認を行い搬送する。

※ 安静時間と負荷時間は担当医の指示に従う。

(4) ホルモン負荷試験

① 採血管を確認し、負荷前採血を実施する。

② 処置室で注射を施行する。

③ 指定された時間に負荷後の採血を実施する。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

④ 検体は受取確認を行い搬送する。

(5) 薬物負荷試験

- ① 採血管を確認し、負荷前採血を実施する。
 - ② 持参した薬剤を服用する。
 - ③ 指定された時間に負荷後の採血を実施する。
 - ④ 検体は受取確認を行い搬送する。
- ※ 負荷時間は担当医の指示に従う。

3) 採血時の注意点

(1) 特殊項目の採血に注意する。

- ① LPL 検査は、ヘパリンを投与後に採血するので、処置室で行う。
採取ラベルに[注射]と印字される。
- ② パックスジーン用の採血管タイプは、翼状針が専用です。ニプロのホルダーは使用出来ない。
- ③ β -トロンボグロブリンや血小板第4因子の採血（特Q）は、採血時に駆血帯をせずに、21ゲージの採血針を用い、分注はキャップを外して静かに分注するなど、細かく指定されている。採血後も、直接SRLに搬送する。
- ④ EGFR 遺伝子変異解析の採血（M17）は、遠心条件と分離スピッツが専用になるので、採血後、直接LSIに搬送する。

※採取ラベルに印字されている情報に注意する。

(2) 安静時の採血は、ベッドに寝かせる際に名前の確認、食事の有無、採血の腕等をきちんと確認して、採血時にはファイル等で名前の確認をするなど、患者にあまりしゃべらせずに採血する。

7.3.2 尿採取

1) 尿は清潔な容器に採る。尿検査における最も一般的な採尿法は自然排尿で、採尿の際に前半の尿は捨て中間尿を採取する。できるだけ速やかに検査を行い、尿の変質や腐敗による結果の過誤を防ぐ。特に、女性の採尿の場合は、膣・外陰部由来の混入物を避けるため、局所を脱脂綿またはガーゼなどで清拭後、中間尿を採取することが望ましい。

※中間尿

最初の尿は採取せず、排尿を止めずに途中の尿を採尿容器に採取する。最後の尿も採取せず廃棄する。

2) 採尿方法での留意事項

(1) 尿の種類および随時尿、中間尿以外の採尿方法（早朝尿、初尿、カテーテル尿、尿路変更術後尿など）を明記する。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

- (2) 採尿前に尿道口を清拭することが望ましい。
- (3) 防腐剤は添加しないことが望ましい。24時間畜尿では検査目的により防腐剤や保存剤を使用することがある。
- (4) 採尿後速やかに検査室に提出する。
- (5) 確認試験も考慮し50 mL以上の尿の採取が望ましい。
- (6) 生理中の場合にはバーコードラベルに明記する。

3) 尿の種類

- (1) 採尿時間による尿の種類
 - ① 早朝尿（起床時第1尿）
 - ② 随時尿
 - ③ 24時間尿（蓄尿）（12時間尿や2時間尿もあり）
 - ④ 負荷後尿
 - ⑤ 時間尿
- (2) 目的による尿の種類
 - ① 自然尿
 - a. 全尿
 - b. 部分尿（初尿・中間尿）
 - ② カテーテル尿
 - ③ 膀胱穿刺尿
 - ④ 分杯尿（2杯尿、3杯尿）
 - ⑤ 回腸導管尿（尿路変更術後尿）

7.3.3 便採取

便検査用容器か細菌検査用容器に入れて提出する。
年齢や検査によってはオムツやスワブで提出する場合もある。

7.3.4 細菌検査材料採取

検体はなるべく無菌的に採取する。
採取後は速やかに検査室に搬送する。

7.3.5 病理検査材料採取

- 1) 組織診断検査
 - (1) 摘出した組織は自家融解・乾燥を防ぐため、直ちに10%中性緩衝ホルマリン液が入った容器に入れ固定する。なお、容器の種類（タッパー・袋など）は問わないが、検体組織にホルマリンが浸透するように、十分な大きさの容器に入れる。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

- (2) 固定容器には、患者氏名を必ず明記する。複数部位採取の際には採取部位（臓器名や容器 No. 等）も明記する。
- (3) ホルマリン未固定検体での提出の場合は、速やかに病理診断部に提出する。
- (4) 蛍光抗体法の検体は、採取後はクリオモルドの底に組織検体があることが分かるようにコンパウンド(凍結組織用包埋剤)を入れて凍結後、提出して下さい。
- 2) 術中迅速診断
- (1) 未固定検体のため、速やかに提出する。容器の種類（タッパー・袋など）は問わないが、検体を密閉した状態で提出する。併せて提出する迅速用の黄色封筒に、患者氏名、検体組織名、手術室や連絡方法等を明記する。
- (2) 術中迅速細胞診検体の場合は、容器には必ず患者氏名を明記する。
- 3) 細胞診断検査
- (1) スライドガラス塗抹検体（婦人科、呼吸器、穿刺吸引材料など）
プレパラートに塗抹後、直ちに固定液に浸漬する（湿固定）。固定液に浸漬したまま提出する。プレパラートのフロスト面に鉛筆で患者氏名を明記する。同一患者で 2 カ所以上違う部位から採取した場合、プレパラートのフロスト面に採取部位も明記する。
リンパ節穿刺や造血器疾患が疑われる検体の場合、メイギムザ染色標本用に乾燥固定させたスライドガラスも提出してください。
- (2) 呼吸器関連
液状検体提出の場合、容器には必ず患者氏名を明記する。
結核や抗酸菌、COVID-19 の感染症疑いの場合、メイギムザ染色やチールネルゼン染色は行いません。
- (3) 喀痰
生痰を提出の場合は、滅菌 PP スクリューカップに入れて提出する。検体容器には必ず患者氏名を明記する。蓄痰法の場合、同じ容器に 3 日分の喀痰を入れる。喀痰を入れるごとに、蓋を閉めて、上下に攪拌する。
- (4) 尿
自然尿は早朝尿を避け、随時尿を提出する。容器には必ず患者氏名を明記する。「7.3.2 尿採取」の項目に準じる。
- (5) 体腔液
10mL～50 mL 提出する。セルブロック作製や検体保存を希望の場合は、さらに多くの検体量が必要な場合がある。検体容器は問わないが、容器には必ず患者氏名を明記する。
- (6) 胆汁・膵液
採取後は氷冷して早めに病理診断部に提出する。容器には必ず患者氏名を明記する。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

(7) 穿刺吸引材料（液状）

同一患者で 2 カ所以上違う部位から採取した場合は、容器に採取部位も明記する。容器には必ず患者氏名を明記する。

(8) 脳脊髄液

採取後は早めに提出する。容器には必ず患者氏名を明記する。

8. 検体搬送手順

検体を搬送する場合は、密閉された梱包容器またはプラスチック製の密閉容器内容等を使用して、検体の紛失や破損がないようにする。また、検体の可視化を避け、個人情報保護ができるよう注意する。

9. 検体受付手順

9.1 受付場所

- 1) 本館採血室（内 2212） 平日 業務時間内（7:30～17:15）
- 2) 子ども医療センター検体検査室（内 7653, 7654）
平日 業務時間内（8:30～17:15）
- 3) 本館検査室（内 2207, 2214） 24 時間受付
- 4) 新館検査室（内 2707） 24 時間受付
- 5) 病理診断部受付（内 2257、2256） 平日 業務時間内（8:30～17:15）
検体処理が必要なため、病理検体や細胞診検体を 17:00 までに提出する。
平日時間外や休日は原則受け付けない。
ホルマリン及びエタノール保存検体や乾燥標本は室温保存、他の検体は冷蔵保存する。（原則として臨床検査部では、病理検体は預からない。）
- 6) 輸血検体は輸血・細胞移植部（内 2132, 2133）に提出する。24 時間受付
- 7) 本館生理検査室（内 2239） 平日 業務時間内（7:30～17:15）

9.2 検体受入不可基準

- 1) 検体のラベル表示不良
 - (1) ラベルなし
 - (2) 2 名以上の氏名が記載されたラベルが貼付された検体
 - (3) 依頼内容と検体ラベルの不一致（氏名/ID /日付違い）
- 2) 検体の不良
 - (1) 結果を無効とするような不適切な容器、または防腐剤
 - (2) 温度管理がされていない状態での保管
 - (3) 検査に適してない検体（溶血、脂肪血などの干渉、凝固検体）
 - (4) 採取量が過不足な検体

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

3) 検査申込書の不良

- (1) 検査申込書にバーコードがない
- (2) 検体と不一致と検体ラベルの不一致 (オーダー番号/検体種類/検体数)

4) 病理検査

プリオン病 (クロイツフェルト・ヤコブ病等)、またはプリオン病が疑われる場合の検体

9.3 生理機能検査受入不可基準

1) 肺機能検査

- (1) 結核等飛沫感染がある場合。
- (2) 胸部不快感や胸痛、腹痛などの症状がある場合。
- (3) 理解力が非常に乏しく、検査の方法を理解できない場合。
- (4) DLco検査は肺活量(VC)が1 L未満の場合。
- (5) 肺機能検査問診票に記載の相対的禁忌事項 に該当する項目が「はい」である場合、肺機能検査問診票フローチャートに従い、依頼医に連絡し、依頼医が「検査は不可能」と判断した場合。

ID _____	氏名 _____	記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
肺機能検査を受ける患者様へ		
(この用紙は検査当日に肺機能検査室までご持参ください)		
<p>肺機能検査は、力いっぱい息を吸い込んだり、吐き出したりする検査です。 正しく肺機能を計測するために、同じ検査を複数回行います。検査には患者様のご協力が不可欠ですので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。 検査を行うにあたり、下記の間診票をご記入ください(「はい」か「いいえ」のいずれかに○をつけてください)。</p>		
1. 気胸と言われたことがある	はい	いいえ
2. 血痰が出ている	はい	いいえ
3. 脳動脈瘤と言われたことがある	はい	いいえ
4. 1か月以内に脳もしくは眼の手術を受けた	はい	いいえ
5. 1か月以内に胸部もしくは腹部の手術を受けた	はい	いいえ
6. 1週間以内に耳や副鼻腔の手術を受けた	はい	いいえ
7. 1週間以内に心筋梗塞と診断された	はい	いいえ
8. 肺塞栓症(肺血栓塞栓症、エコノミークラス症候群)と言われたことがある	はい	いいえ
9. 心不全や不整脈の治療中である	はい	いいえ
10. (8および9が「はい」の方のみ)主治医から力仕事やいきむことを控えるように指示されている	はい	いいえ
11. 1か月以内に新たに出現した胸部の不快感や痛み、息苦しきがある	はい	いいえ
12. (女性の方のみ)妊娠中である	はい	いいえ
13. タバコをこれまでに吸ったことがある	はい	いいえ
14. (13が「はい」の方のみ) 1日平均 _____ 本 _____ 歳 ~ _____ 歳		
※現在喫煙中の方は最後にタバコを吸った日時を教えてください _____ 月 _____ 日 午前/午後 _____ 時頃		

肺機能検査問診票

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17



肺機能検査問診票フローチャート

上記、(1)～(5)の場合は、依頼医に検査ができない旨の了承を得る。

2) 心電図検査

(1) 心電図

- ① 四肢や全身の動きを止められず、電極の装着が困難な場合。
- ② 検査の過程を説明しても理解力が乏しく、協力が得られない場合。
- ③ 検査施行により、患者の身体に大きな影響が考えられる場合。
- ④ 感染症患者の場合。(安静時心電図はポータブル検査で対応)

(2) マスター2 階段負荷試験 (心電図受入不可基準に加えて)

- ① 運動負荷試験の禁忌に当てはまる場合。
- ② 階段の昇降が難しい場合。

腰痛、膝関節痛などで階段の昇降が難しいが、早歩きが可能な場合は生理機能前の廊下で歩行負荷をマスターの代わりに行うこともある。2 階段試験よりも心拍数の上昇が小さい場合が多いので主治医にその旨を説明して許可を得てから行う。

A) 絶対禁忌

- | |
|----------------------|
| 1 急性心筋梗塞症 |
| 2 不安定狭心症 |
| 3 コントロールされていない心室性不整脈 |
| 4 心機能障害を伴う上室性不整脈 |
| 5 うっ血性心不全 |
| 6 高度の大動脈弁狭窄症 |
| 7 解離性大動脈瘤またその疑い |
| 8 急性心筋炎またはその疑い |
| 9 血栓塞栓症または心内血栓 |
| 10 急性の肺またはその他の臓器の梗塞 |
| 11 感染症急性期 |
| 12 3度房室ブロック |
| 13 精神障害 |
| 14 心電図変化が最近起こった場合 |
| 15 急性心膜炎 |

B) 相対禁忌

- | |
|--|
| 1 安静時拡張期血圧120mmHg以上, または収縮期血圧200mmHg以上 |
| 2 中等度以上の弁膜症 |
| 3 ジギタリスなどの薬剤使用の場合 |
| 4 電解質異常 |
| 5 固定心拍数のペースメーカー植え込み患者 |
| 6 重症心室性不整脈 |
| 7 心室瘤 |
| 8 心筋症 (肥大型を含む) |
| 9 コントロールされていない代謝性疾患 (糖尿病・甲状腺機能亢進・粘液水腫など) |
| 10 その他の全身疾患 (単核症・肝炎など) |
| 11 運動が困難な神経・骨格・筋疾患, 関節リウマチなど |

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	<u>17</u>

(3) ホルター心電図

- ① 検査に対して、同意が得られない場合。
- ② 胸部を使用する検査、または処置など装着から 24 時間以内にある場合。
- ③ 翌日の記録器返却が困難である場合。

上記、(1)～(3)の場合は、依頼医に検査ができない旨の了承を得る。

3) 脳波検査室

- (1) 検査に対して、同意が得られない場合。
- (2) 人工呼吸管理中の患者や感染症患者。(ポータブル検査で対応)
- (3) 外傷や術後など頭部に広汎な傷があり電極装着できない場合。
- (4) 安静が保てない患者。

4) 超音波

- (1) 全身状態が悪い患者。(但し、主治医同伴でおこなえれば可能)
- (2) せん妄など、検査への協力が得られない患者。(但し、主治医同伴で行えれば可能)
- (3) 検査に同意が得られていない患者。
- (4) 一類・二類感染症および空気感染を起こす感染症の患者。
- (5) 検査部表面皮膚検査対象臓器の表面皮膚に探触子を接触させることが困難な患者。

9.4 検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与えることが知られている要因

- 1) がん化学療法用尿酸分解酵素製剤 (ラスリテック) を使用中の患者検体を室温に放置する事により、本剤が尿酸を分解し見かけ上尿酸値が低くなる。
- 2) 有機リン剤中毒の解毒剤 (PAM: パム、プラリドキシムヨウ化物) が血糖測定値に影響を及ぼす事が報告されており、当検査部の自動分析装置の試薬では高値を示す。
- 3) 添加物としてクレアチニンが含まれる注射薬 (水溶性ヒドロコト注射薬) を投与直後に投与部位付近から採血を行った場合、血清クレアチニン値の偽上昇を来す可能性がある。
- 4) 肺機能検査において、努力不足や咳嗽によるアーチファクトが混入する場合。
- 5) 肺拡散能力検査 (DLco) において、一秒量が1.75L未満の場合。
- 6) 聴性脳幹反応 (ABR) は自動ABRも含めて4000 Hzから8000 Hzの音域をとらえる検査のため老人性難聴など高音障害型の難聴がある場合の脳幹機能評価には適さない。
- 7) 腹部超音波において、食事による胆嚢収縮や消化管ガスにより描出不良となる。
- 8) 消化管内視鏡後の腹部超音波では消化管ガスの影響により描出不良となる。
- 9) 排尿後は膀胱および前立腺や子宮などが描出不良となる。
- 10) 心電図の四肢電極が四肢の切断等で胴体付近に装着した場合。
- 11) 心電図の胸部電極が傷や外科的な処置などで既定の位置に装着できない場合。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	<u>17</u>

12) 心電図において、仰臥位をとることが困難で座位記録を行った場合。

10. 追加検査の依頼手順

依頼検体が保存期間内にあり、残量があれば追加検査可能。

1) 外来の場合

- (1) 検査室（2207）に追加の連絡をして追加可能の確認をする。
- (2) 追加オーダーをして採血室（2212）に連絡する。
- (3) 採血室受付で受付をする。
- (4) 採取指示リストとラベルを検査室に送る。

（注意事項）外来の検査オーダーは、必ず採血室での受付が必要となります。
採血室（2212）に直接連絡を入れるか、患者様に直接採血受付で「追加検査がある」と伝えていただくようお願いします。

2) 病棟の場合

- (1) 検査室（2207）に追加の連絡をして追加可能の確認をする。
- (2) 追加オーダーをする。行い、採取指示リストとラベルを検査室に提出する。
- ~~(3) 採取指示リストとラベルを検査室に送る。~~

《検体保管期間》

- 1) 生化学・免疫検査部門（第1検査室）：冷蔵
 - (1) 生化学検体・免疫血清検体：2週間
 - (2) 感染症依頼検体：2か月間
- 2) 生化学・免疫検査部門（第1検査室）：室温

血液ガス検体・アンモニア検体：当日検査終了まで
- 3) 生化学・免疫検査部門（第1検査室）：凍結

シクロスポリン・タクロリムス：1週間
- 4) 血液・凝固検査部門（第2検査室）：冷蔵
 - (1) HbA1c検体：当日
 - (2) 血算検体：当日
 - (3) 凝固検体：当日
- 5) 血液・凝固検査部門（第2検査室）：凍結

血漿（凝固因子）：1週間
- 6) 血液・凝固検査部門（第2検査室）：室温
 - (1) 末梢血液塗抹標本：2年間
 - (2) 染色体カルノア固定保存液：2年間
 - (3) 骨髄（有核細胞数・骨髄巨核球数）：当日
 - (4) 骨髄染色標本：2年間
 - (5) 骨髄未染色標本：1週間
- 7) 尿・一般検査部門（第2検査室）：冷蔵

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

- (1) 尿：当日16時まで
- (2) 体液（胸水・腹水）：上清のみ6ヶ月
- (3) 髄液：上清のみ6ヶ月
- (4) 便（ヘモディア）：当日検査終了まで
- (5) 便（虫卵検査）：当日検査終了まで
- 8) 細菌検査部門（第4検査室）
 - (1) 一般細菌の検体：2日間
 - (2) 抗酸菌の検体：当日
 - (3) グラム染色標本：1か月間
- 9) 輸血・細胞移植部門：冷蔵
 - (1) 血液型検体 血球：採血日を含めて7日間
 - (2) 血液型検体 血漿：3年間
- 10) 遺伝子検査部門（第1検査室）：凍結
 - (1) 感染症検体（HBV、HCV、抗酸菌）：2か月
 - (2) 造血器腫瘍遺伝子検査検体（抽出RNA）：1年間
- 11) 病理診断部（組織診）
 - (1) ホルマリン固定検体（手術検体）：1年
 - (2) 組織診ブロック・標本：永久保存
 - (3) 蛍光検体：凍結、：6か月
- 12) 病理診断部（細胞診）
 - (1) 細胞診検査の未固定検体：冷蔵、検査結果の最終報告終了まで
 - (2) 標本：永久保存

《追加時に注意を要する項目》

- 1) 腫瘍マーカー（CEA、CA19-9、CA15-3、PIVKA-II、AFP、CA12-5、PSA、CYFRA、CA72-4、NSE）および感染症項目は化学分析後の検体で追加は不可。担当医にキャリーオーバー（プローブを介してのコンタミネーション）の可能性を確認し、了解を得た場合は追加可能。
- 2) -80℃凍結保存項目（NSE、PIVKA-II、CH50、BTR、PCT、トロポニンT、尿中HCG、尿中C-PEP）は当日のみ追加可能。
- 3) BNPは採血後2時間まで追加可能。それ以前の検体は参考値。
- 4) ProGRPは採血後6時間まで追加可能。
- 5) HCG（血清）は、4℃で1週間追加可能。それ以前の検体は参考値。
- 6) CK-MBは、3日以内まで追加可能。それ以前の検体は参考値。
- 7) 薬物は基本プレイン管、微量のヘパリン採血、特Gでも測定可能。フェニトイン、フェノバルビタール、カルバマゼピン、バンコマイシンは分離剤入り採血管は不可。医師の許可がある場合は参考値。
- 8) ガスの残りのヘパリン血漿での血中薬物濃度およびBコースの検査は不可。
- 9) アイソザイム（CK、ALP、LDH、AMY）は2日以内まで追加可能。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	<u>17</u>

それ以前の検体は参考値。

- 10) トロポニンT定性は採血後8時間まで追加可能。
 - 11) 白血球分類は採血後4時間まで追加可能。
 - 12) APTTは採血後4時間まで追加可能。
 - 13) 病理細胞診検体処理後の脳脊髄液の生化学（アルブミンを添加するため）
 - 14) 病理細胞診検体処理後の細菌検査（無菌操作でないため）
 - 15) 脱灰処理後の病理組織検体の免疫染色
 - 16) 微小な病理組織検体の追加薄切（内視鏡検体などの微小検体は、未染オーダーの追加検索で薄切する過程で病変部が消失する場合がある）
 - 17) 過固定病理組織検体の免疫染色の一部
- * 外注検査項目については、各外注委託先の総合検査案内に準じる。

11. 各種申請手続き

臨床検査終了後検体や講座用採血、検査資料の研究目的の使用は所定の手続きが必要となる。

1) 臨床検査終了後検体

- (1) この試料保管手順書に基づき、新規に利用する場合は下記申請手順により、臨床検査部に申請書を提出する。
- (2) 臨床検査終了後検体の提供を希望する場合は、**個人情報使用申請書（臨床検査終了後検体用）-書式1-**により申請を行う。
- (3) 提供された試料は、申請者（保管責任者）が責任をもって保管、管理する。
- (4) この試料を研究に用いる際には、研究計画について倫理委員会の審査を受ける。
- (5) 利用後は申請者（保管責任者）の責任で速やかに破棄する。

2) 講座用採血

- (1) 講座用採血を検査部に依頼する場合は、臨床検査部技師長に連絡の後、プロトコールを提出し、対応の可否の確認および依頼方法、検体の受け渡し方法などの打ち合わせを行う。
- (2)-**個人情報使用申請書（講座用採血）-書式2-**に必要事項を記入し、臨床検査部に申請を行い、臨床検査部部長の許可を得てから検体を持ち出す。なお研究目的の場合には、必ず臨床研究の許可証のコピーを一緒に提出してもらう。研究以外の使用目的の場合は、具体的な使用目的を詳細に記載してもらう。
- (3) 対象者には Informed Consent を取得し、申請者が責任をもって保管する。

3) 検査資料

- (1) 検査資料を利用する場合は、医療情報部に必要な申請を行ってもらい医療情報部を通して利用者との資料の受け渡しを行う。
- (2) 診療目的等で患者に渡す場合や統計資料として情報を必要とする場合は申請書

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

(臨床検査部個人情報使用申請書(検査資料)-書式3-を使用、あるいは個々に取り決めを行い、必要な記録を残す。

12. アドバイスサービスの案内

検査の依頼および検査結果の臨床アドバイスに関する問い合わせは本検査案内の臨床検査部、輸血・細胞移植部、病理診断部連絡先において対応する。

13 パニック値報告

13.1 パニック値一覧

◎パニック値の設定・・・即刻治療が必要になるような、基準値を大きく外れた値

○検体検査

生化学検査	低値 (以下)	高値 (以上)	主な病的意義	
			低値	高値
CRP (mg/dL)		25.0		重症感染症
TP (g/dL)	3.0	12.0	肺水腫, 胸水貯留	過粘稠症候群
Alb (g/dL)	1.5		肺水腫, 胸水貯留	
UN (mg/dL)		100		重度の腎不全
Cre (mg/dL)		8.0		重度の腎不全
AST (U/L)		1000		重篤な肝障害
ALT (U/L)		1000		重篤な肝障害
LDH (U/L)		5000		多臓器不全
ChoE (U/L)	40		有機リン中毒	
Amy (U/L)		3000		急性膵炎
CK (U/L)		5000		急性心筋梗塞, 横紋筋融解症
Glu (mg/dL)	40	500	低血糖昏睡	糖尿病性昏睡
Na (mmol/L)	115	170	痙攣, 精神症状	意識障害
K (mmol/L)	2.4	7.0	呼吸筋麻痺, 致死性不整脈	心停止, 致死性不整脈
Ca (mg/dL)	6.0	13.0	テタニー	意識障害, 急性腎不全
血中薬物濃度	有効血中濃度上限			薬物中毒
血液ガス				
pH	7.200	7.600	重度のアシドーシス	重度のアルカローシス
PaO2 (Torr)	50		呼吸不全	
PaCO2 (Torr)		60		CO2 ナルコーシス

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

血液検査	低値 (以下)	高値 (以上)	主な病的意義	
			低値	高値
WBC (/μL)	1000	30000	好中球減少性発熱	重症感染症
Hb (g/dL)	5.0	20.0	急性失血(消化管出血など)	血栓症
Plt (/μL)	3万	100万	自然出血	血栓症
HbA1c (%)		12.0		糖尿病性昏睡
INR		4.0		自然出血, 劇症肝炎
APTT (sec)		100.0		自然出血
Fib (mg/dL)	50		自然出血	
D-dimer (μg/mL)		20.0		播種性血管内凝固
FDP (μg/mL)		50.0		播種性血管内凝固
出血時間 (分)		10		自然出血

注 1) 基本的には初回値のみ報告, ただし下線項目は随時報告.

注 2) 透析症例の Cr および BUN は除外する. (依頼時に透析前や透析後の入力があれば除外)

【一般検査】

- ・ 便中の赤痢アメーバ検出
- ・ 尿 ・ 穿刺液 ・ 髄液中の異形細胞出現
(但し、臨床診断、臨床経過と乖離があり患者に大きな影響を与えるとき)

【細菌検査】

- ・ 抗酸菌塗抹陽性 ・ 結核菌培養陽性 ・ 結核菌 PCR 陽性
- ・ 髄液培養で菌が陽性髄液塗抹、培養で菌が陽性
- ・ 感染症新法の記載菌が分離されたとき

【病理検査】

- ・ 術中迅速診断などホルマリン未固定検体で結核の疑いがある場合
(変性・壊死性物がみられるなど)
- ・ 臨床診断、臨床経過と病理診断で大きな乖離があり、患者に大きな影響を与えると病理専門医が判断した場合
- ・ 臨床診断で悪性を疑っていないが、病理診断で悪性と病理専門医が判断した場合
- ・ 細胞診の迅速時に陰性と結果報告をしたが、同時に作製した特殊染色標本において悪性細胞が検出された場合

【輸血検査】

- ・ 輸血の可能性あり、稀な血液型および稀な不規則抗体を保有する場合
- ・ 前回値と血液型が異なる場合

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

○生理機能検査

【心電図】

- ・ ST の虚血性低下または上昇
(前回と変化がある場合)
- ・ R-R 間隔が 2 秒以上
(初回検査のみ報告)
- ・ 高度房室・洞房ブロック、
(初回検査のみ報告)
- ・ R on T, PVC 3 連発以上
- ・ 上室性頻拍
- ・ HR < 40/min (初回検査のみ報告)
HR < 30/min (2 回目以降も報告)
- ・ HR > 120/min
(16 歳以上かつ初回検査のみ報告)
- ・ HR > 150/min (2 回目以降も報告)
- ・ ペースメーカー不全

【負荷心電図】

- ・ 負荷後の虚血性 ST 変化
- ・ 負荷後の不整脈の頻発

【起立調節試験】

- ・ 著しい血圧変動

【ホルター心電図】

- ・ ST 低下または上昇 (虚血性)
- ・ R-R 間隔 > 3 sec
- ・ R on T, PVC 3 連発以上
- ・ PAT の頻発, 高度房室・洞房ブロック
- ・ ペースメーカー不全

【付記】

パニック値の報告方法に関しては、臨床検査部の内部規定に基づいて行う。
また、報告基準に関しては、適時変更される場合がある。

【呼吸機能検査】

- ・ SpO₂ < 90% の実施確認

【脳波検査】

- ・ 検査中に全般強直間代発作が出現
- ・ 突発性異常波が頻発
(初回、前回正常、無投薬時)

【超音波検査】

- ・ 心臓・大血管
心タンポナーデ, 動脈瘤解離,
- ・ 腹部
急性虫垂炎, 消化管穿孔, 腹腔内出血など

* 生理機能検査では、症状や徴候を含めて緊急性を判断し、主治医に連絡しています。

自治医科大学附属病院	文書名	文書番号	版番号
臨床検査室	検査案内書	QT-収集-0002	17

13.2 パニック値の報告

1) 報告基準

パニック値に該当する項目があった場合、次の規定に従い報告する。

- (1) 初回時にパニック値であった場合。
- (2) 前回パニック値でなかった項目が、今回パニック値に該当した場合。
- (3) 異常値が継続的に続く場合は報告しない。
- (4) パニック値を報告する場合、検体の状況も合わせて報告を行う。

(K 値を報告する場合の溶血の程度や、血小板数を報告する場合の検体凝固等)

- (5) 前回と比べ著しい変化があった場合は、パニック値にこだわらず報告する。

2) 報告方法

結果報告は電話にて口頭で伝える。報告を行ったら、「パニック値対応記録」に記載する。報告順は次の通りとし、連絡の取れたところで終了する。

- (1) 入院患者の場合（平日日中）

オーダー依頼医師→担当医（主治医）→病棟医長→副診療科長→診療科長

- (2) 入院患者の場合（平日夜間、土日祝祭日）

オーダー依頼医師→担当医（主治医）→日直医、宿直医、宅直医

- (3) 外来患者の場合（日中）

オーダー依頼医師→担当医（主治医）→各診療科の当日の初診診療に携わる医師

14. 個人情報保護に関する検査室の方針

当院の個人情報保護に関する基本方針に準じる。

15. 検査室の苦情処理手順

検査室への苦情の連絡先は、本検査案内の臨床検査部、輸血・細胞移植部、病理診断部の担当部署において対応する。

検査室での苦情対応は、「苦情処理手順書」に準じ適正に処理する。

16. 関連文書

「検査案内書管理手順書」「文書管理手順書」「検体の廃棄手順書」「検体の保存手順書」

「採血業務手順書」「標準採血法ガイドライン」「検体搬送及び受け入れ手順書」

「苦情処理手順書」「不適合処置手順書」「委託検査管理手順書」

「アドバイスサービス手順書」「感染防止対策マニュアル」「標準操作手順書」